

子どもの読書活動に関するアンケート調査

2020

南アルプス市子どもの読書活動推進協議会

★調査概要

この調査は、「子どもの読書活動推進事業」の一環として行なった平成16年度『学校調査2004』、平成22年度『子どもの読書活動に関するアンケート調査2010』、平成29年度『子どもの読書活動に関するアンケート調査2015』に引き続き実施した。これは子どもの読書活動推進協議会において、前回の調査結果と比較し、市内の子どもの読書活動や読書環境の現状を把握するとともに、子どもの読書活動に影響を与える要因を明らかにすることを目的としている。

この調査の分析結果は、学校図書館や保育所、幼稚園、児童館等子どもの読書に関わる施設と市立図書館が連携して、子どもの読書環境づくりを地域ぐるみで推進するための参考とする。また、平成29年3月に策定した『ひろげよう子どものせかい—南アルプス市子どもの読書活動推進計画—(第3次)』に沿って、本市の子どもの読書活動の推進を図っているが、その見直しのためにも反映していく。

子どもたちが生涯にわたる読書習慣を身に付け、子ども自身が読書の楽しさを知り、心豊かに成長できる一助となるよう活用していきたい。

★調査方法

- ①児童生徒用…学校で学級ごとに担任が立ち会って一斉に実施
- ②保護者用…保育所及び学校から調査用紙を家庭に持ち帰り保護者が回答し、保育所及び学校に提出
保育所及び学校は、市立図書館で回収
- ③施設用(小中学校・高等学校)…用紙で依頼
- ④施設用(保育所・各園・児童館)…用紙で依頼、市立図書館で回収
- ⑤ブックスタート用 問診表配布時にアンケート用紙を入れ当日回収

★調査期間

- ①～④令和2年11月2日から10日まで
- ⑤令和3年4月から7月まで

★調査対象

- ①児童生徒用
小学校4．5．6年生、 中学校2年生
・小学校は、学年1クラスを調査対象とする。
・中学校は、学年3クラスを調査対象とする。
- ②保護者用
3歳児、小学校1．4年生、中学校2年生
・学年1クラスを調査対象とする。
- ③施設用(小学校・中学校・高等学校)
- ④施設用(保育所・各園・児童館)
- ⑤ブックスタート用
・4か月健診児保護者
・1歳6か月健診児保護者

回答状況①②

	小学4.5.6年生	中学2年生	3歳児保護者	小1保護者	小4保護者	中2保護者
調査数	1,289人	548人	388人	360人	450人	194人
回答者数	1,196人	495人	336人	332人	413人	160人
回答率	93%	90%	87%	92%	92%	82%

回答状況③④

	小学校	中学校	高校	保育所・各園	児童館
調査数	16校	8校	2校	22ヶ所	6ヶ所

回答状況⑤

	4か月検診	1歳6か月検診
実施回数	5回	5回
回答者数	63人	67人

<目次>

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	小学校	・ ・ ・ ・ ・	38
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	中学校	・ ・ ・ ・ ・	48
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	3歳児保護者	・ ・ ・ ・ ・	58
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	小1保護者	・ ・ ・ ・ ・	64
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	小4保護者	・ ・ ・ ・ ・	70
子どもの読書活動に関するアンケート調査集計	中2保護者	・ ・ ・ ・ ・	76
市内読書施設に関するアンケート調査（小学校）	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	82
市内読書施設に関するアンケート調査（中学校）	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	91
市内読書施設に関するアンケート調査（高等学校）	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	95
市内読書施設に関するアンケート調査（保育所・各園）	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	97
市内読書施設に関するアンケート調査（児童館）	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	102
ブックスタートに関するアンケート調査	4か月健診	・ ・ ・ ・ ・	104
ブックスタートに関するアンケート調査	1歳6か月健診	・ ・ ・ ・ ・	107

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 小学校

令和2年11月実施

対象 市内小学校 4. 5. 6学年

【八田・源・飯野・白根東・百田・芦安・若草・若草南・

小笠原・楡形北・楡形西・豊・落合・大明・南湖・子どもの村】

調査児童数 1,289人

回答者数 1,196人

回答率 93%

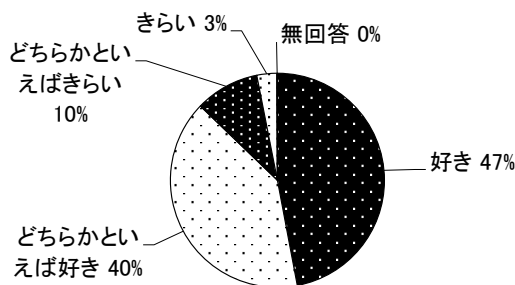
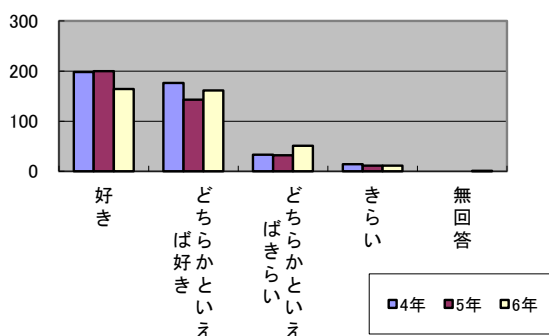
※円グラフは全体の割合を表わしています

構成比は小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえばきらい
- エ きらい
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
198	47%	200	52%	164	42%	562	47%
176	42%	143	37%	161	41%	480	40%
33	8%	32	8%	51	13%	116	10%
14	3%	11	3%	11	3%	36	3%
0	0%	0	0%	1	0%	1	0%
421	100%	386	100%	388	100%	1,195	100%

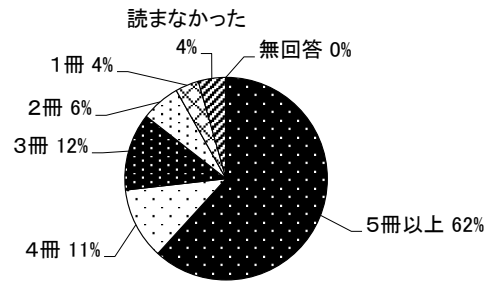
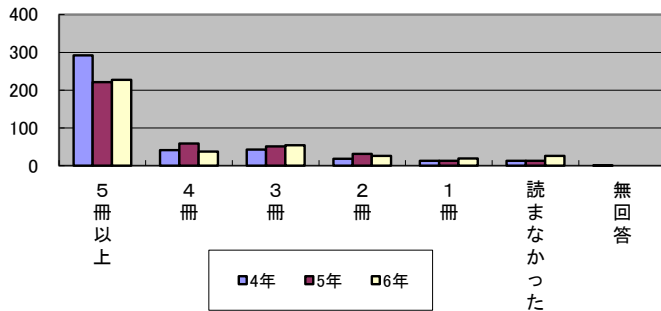


「好き」「どちらかといえば好き」をあわせて87%の児童が本を好きと答えている。前回と比較すると、6%減少している。学年が進むに従って「どちらかといえばきらい」「きらい」と答える児童が多くなっている傾向は変わらないが、今回の調査では4年生の「好き」の割合が最も多く減少していた。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための休校、その影響によるアンケート時期の変更、学校図書館、市立図書館の利用の制限、インターネットの普及による活字離れの可能性等さまざまな原因が考えられる。読書習慣を形成していく段階にあるこの時期の子どもたちの興味関心を捉えた魅力的な読書への働きかけが、よりいっそう必要になっていると考えられる。

問2 あなたは、10月1ヶ月の間に、教科書、雑誌、マンガ以外の本を何冊読みましたか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 5冊以上
- イ 4冊
- ウ 3冊
- エ 2冊
- オ 1冊
- カ 読まなかった
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
292	69%	221	57%	227	58%	740	62%
41	10%	59	15%	37	10%	137	11%
43	10%	51	13%	54	14%	148	12%
18	4%	31	8%	26	7%	75	6%
13	3%	13	3%	19	5%	45	4%
13	3%	13	3%	26	7%	52	4%
1	0%	0	0%	0	0%	1	0%
421	100%	388	100%	389	100%	1,198	100%

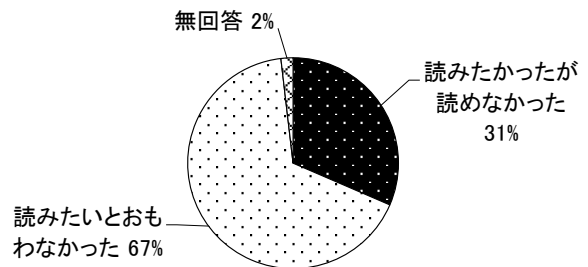
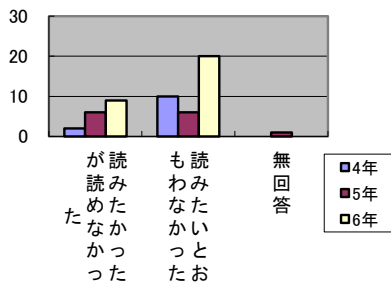


行事が多く学習時間も多くなる2学期ではあったが、95%の児童が何らかの形で読書をしている。前回と比較すると3%の減少である。また「5冊以上」「4冊」読んだ児童がそれぞれ減少し「3冊」「1冊」という児童が2%ずつ増加している。一方、「読まなかった」児童は全体の4%いる。アンケート時期の変更やその他さまざまな要因があると考えられるので、調査の結果だけから読書冊数が減少傾向にあるとは言えない。時間確保だけでなくどうしたら読書に向かうことができるか、読書に興味を持つことができるかという課題に対して、大人たちの働きかけ、子ども同士の読書への関心を高める取り組み、蔵書整備など手立てを考える必要がある。

問3 問2でカ「読まなかった」を選んだ人に聞きます。それはどうしてですか。どちらかの記号に○をつけてください。

- ア 読みたかったが読めなかった
- イ 読みたいとおもわなかった
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
2	17%	6	46%	9	31%	17	31%
10	83%	6	46%	20	69%	36	67%
0	0%	1	8%	0	0%	1	2%
12	100%	13	100%	29	100%	54	100%

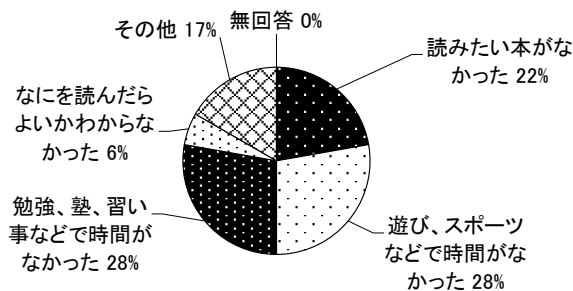
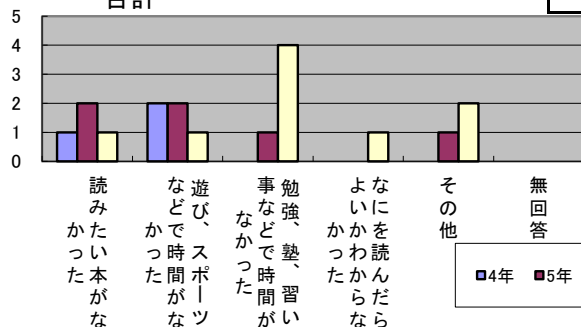


本を読まなかった理由として、「読みたかったが読めなかった」児童が31%、「読みたいとおもわなかった」児童が67%と、「読みたいとおもわなかった」児童のほうが多かったことは前回と同様だった。この傾向は前回と変わらないが、「読みたいとおもわなかった」児童の割合が特に4年生で多くなっている。「読んでみたい」と思えるような本を手渡すことが大事ではないかと思われる。一方「読みたかったが読めなかった」児童については、「読めなかった」理由を問4で回答しているが、読書をするための時間がなかったことをあげている児童が半数以上いる。読書ができるような条件を整える必要がある。

問4 問3でア「読みたかったが読めなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 読みたい本がなかった
- イ 遊び、スポーツなどで時間がなかった
- ウ 勉強、塾、習い事などで時間がなかった
- エ なにを読んだらよいかわからなかった
- オ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
1	33%	2	33%	1	11%	4	22%
2	67%	2	33%	1	11%	5	28%
0	0%	1	17%	4	44%	5	28%
0	0%	0	0%	1	11%	1	6%
0	0%	1	17%	2	22%	3	17%
0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3	100%	6	100%	9	100%	18	100%

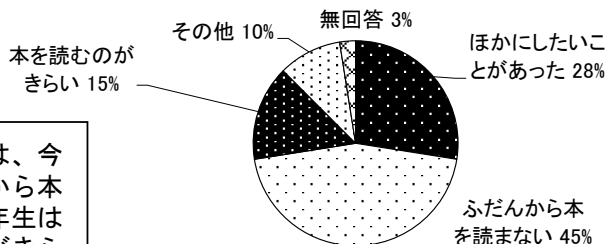


「読みたかったが読めなかった」児童の理由は、4・5年生では「遊び、スポーツなどで時間がなかった」と回答する児童が多く、6年生では「勉強、塾、習い事などで時間がなかった」と回答する児童が多くなる。「日常生活の忙しさ」を理由にしている点で共通している。少しでも読書の時間がとれるよう、環境を整える努力が必要と思われる。また4・5年生では「読みたい本がなかった」児童が3割、6年生では「なにを読んだらよいかわからなかった」と回答する児童が1割いた。「読みたい本がなかった」、「なにを読んだらよいかわからなかった」と回答した児童へは、本を読みたいと思えるよう働きかけることが大切である。

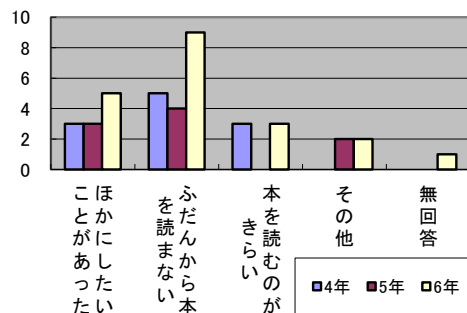
問5 問3でイ「読みたいとおもわなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほかにしたいことがあった
- イ ふだんから本を読まない
- ウ 本を読むのがきらい
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
- ・マンガが好きだから(2)
- ・めんどう

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
3	27%	3	33%	5	25%	11	28%
5	45%	4	44%	9	45%	18	45%
3	27%	0	0%	3	15%	6	15%
0	0%	2	22%	2	10%	4	10%
0	0%	0	0%	1	5%	1	3%
11	100%	9	100%	20	100%	40	100%



問3で「読みたいとおもわなかった」と回答した児童は、今回4年生で多くなっている。その理由として「ふだんから本を読まない」と回答している児童が最も多い。また4年生は「ほかにしたいことがあった」とともに「本を読むのがきらい」と回答する児童が同数おり、「本を読むのがきらい」と回答した割合が3学年中最も多くなった。1冊でも好きな本とであうことができるように、働きかけを続ける努力が大切ではないかと考える。5年生、6年生では、「ほかにしたいことがあった」と答える児童が増えていることから、読書を楽しむことより他の活動への関心が高まっているのではないかとと思われる。

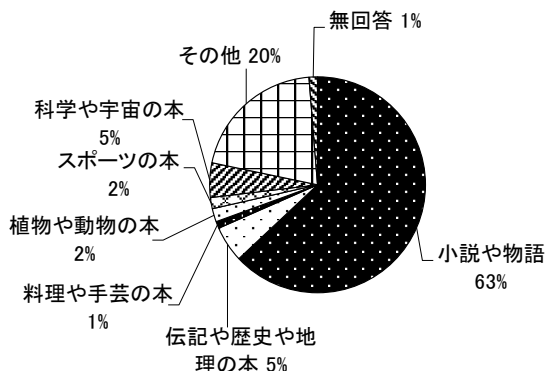


問6 あなたは、最近どんな本を読んでいますか。

- ア 小説や物語
- イ 伝記や歴史や地理の本
- ウ 料理や手芸の本
- エ 植物や動物の本
- オ スポーツの本
- カ 科学や宇宙の本
- キ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
277	63%	268	65%	247	61%	792	63%
25	6%	23	6%	20	5%	68	5%
4	1%	4	1%	5	1%	13	1%
9	2%	11	3%	5	1%	25	2%
9	2%	3	1%	9	2%	21	2%
29	7%	26	6%	10	2%	65	5%
86	19%	73	18%	98	24%	257	20%
3	1%	3	1%	10	2%	16	1%
442	100%	411	100%	404	100%	1,257	100%

「小説や物語」が最も多く読まれている。前回の調査と同じ傾向である。一方で全学年で「科学や宇宙の本」「その他」の割合が前回より増え、「伝記や歴史や地理の本」「料理や手芸の本」「植物や動物の本」「スポーツの本」は割合が減っている。児童が関心をもつ分野が変化していることがうかがえる。



問7 あなたは、読みたい本をどのようにして用意しますか。
あてはまる記号すべてに○をつけてください。

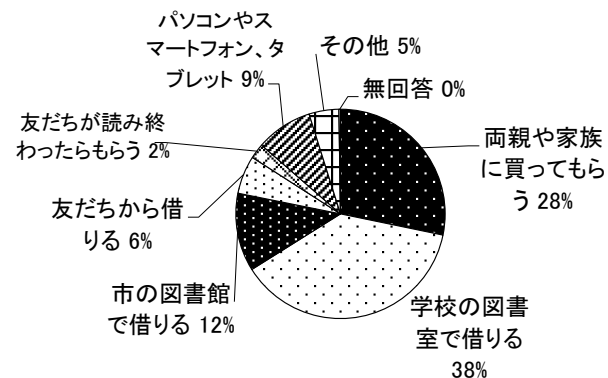
- ア 両親や家族に買ってもらう
- イ 学校の図書室で借りる
- ウ 市の図書館で借りる
- エ 友だちから借りる
- オ 友だちが読み終わったらもらう
- カ パソコンやスマートフォン、タブレット
- キ その他 端末で読む
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
257	29%	224	27%	223	29%	704	28%
352	39%	298	36%	293	38%	943	38%
119	13%	101	12%	81	11%	301	12%
68	8%	45	5%	34	4%	147	6%
11	1%	24	3%	23	3%	58	2%
63	7%	88	11%	67	9%	218	9%
28	3%	42	5%	45	6%	115	5%
1	0%	0	0%	5	1%	6	0%
899	100%	822	100%	771	100%	2,492	100%

前回の調査と比べ数値の割合に変動はなく、「学校の図書室で借りる」が最も多かった。学校の図書室が身近で利用しやすいことは変わらないようである。前回の調査から「パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む」が選択肢に新設された。この選択肢に対して、今回は前回よりも利用していると答えた児童が、全体で5%増えている。自分が読みたい本を用意する方法の選択肢が増え、また手軽にできるようになってきていると考えられる。

その他の主な意見

- ・ 家にある本を読む (178)
- ・ 自分で買う (51)
- ・ 兄弟姉妹、家族からもらう、借りる (5)



問8 あなたは、読む本をどのようにして選んでいますか。
あてはまる記号すべてに○をしてください。

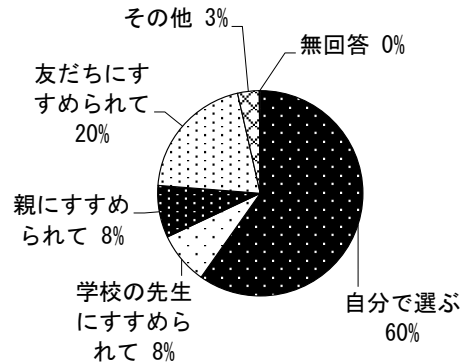
- ア 自分で選ぶ
- イ 学校の先生にすすめられて
- ウ 親にすすめられて
- エ 友だちにすすめられて
- オ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
407	62%	352	56%	383	61%	1,142	60%
50	8%	47	7%	60	10%	157	8%
66	10%	53	8%	38	6%	157	8%
108	16%	153	24%	125	20%	386	20%
24	4%	23	4%	18	3%	65	3%
1	0%	0	0%	2	0%	3	0%
656	100%	628	100%	626	100%	1,910	100%

その他の主な意見

- ・インターネットのランキング、おすすめ(11)
- ・兄弟姉妹にすすめられて(5)
- ・書店のおすすめ(2)
- ・親戚からすすめられて

「自分で選ぶ」が最も多いことは前回と同様である。学校の先生・親・友だちにすすめられて選ぶと回答した児童の割合は前回よりそれぞれ若干減っている。逆に「その他」の回答で「インターネットのランキング、おすすめ」から選ぶと答えた人数が増えている。周囲の人からすすめられる中でも前回と同様、「友だちにすすめられて」が大人にすすめられるよりも数値が高く、成長とともに大人より、友だちとの関わりや影響が大きくなるのがうかがえる。

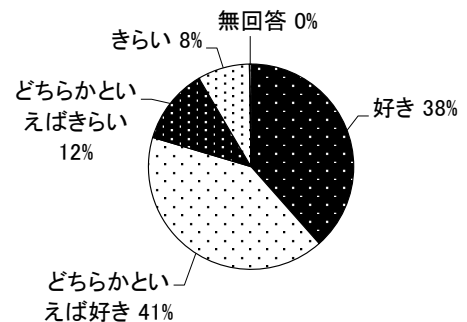


問9 あなたは、本を読んでもらうことが好きですか。(好きでしたか。)
ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえばきらい
- エ きらい
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
178	43%	144	37%	123	34%	445	38%
165	40%	148	38%	163	45%	476	41%
44	11%	49	13%	45	12%	138	12%
22	5%	43	11%	30	8%	95	8%
1	0%	1	0%	1	0%	3	0%
410	100%	385	100%	362	100%	1,157	100%

本を読んでもらうことが「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童が79%と多くを占め、前回と同様の傾向である。「どちらかといえばきらい」「きらい」と答える児童も、前回と同じ割合いる。また中学年よりも高学年のほうが割合が多いという傾向も同じである。自主的に本を読むことが良いと思う児童が成長に従って増えているのではないかと考えられる。



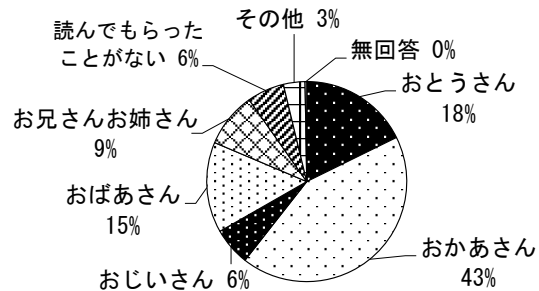
問10 あなたは、いままでに家族から本を読んでもらったことがありますか。
(ありましたか。) あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア おとうさん
- イ おかあさん
- ウ おじいさん
- エ おばあさん
- オ お兄さんお姉さん
- カ 読んでもらったことがない
- キ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
149	19%	123	17%	124	17%	396	18%
329	41%	297	42%	331	46%	957	43%
46	6%	51	7%	40	6%	137	6%
118	15%	111	16%	98	14%	327	15%
76	10%	56	8%	66	9%	198	9%
47	6%	47	7%	40	6%	134	6%
29	4%	28	4%	21	3%	78	3%
3	0%	2	0%	1	0%	6	0%
797	100%	715	100%	721	100%	2,233	100%

その他の主な意見

- ・ 幼稚園、保育園、学校の先生 (17)
- ・ いとこ (14)
- ・ おじ、おば、親戚 (10)
- ・ 読み聞かせボランティアさん (4)
- ・ 弟、妹 (2)
- ・ 友達 (2)
- ・ 友達の家族、近所の人
- ・ 曾祖父母



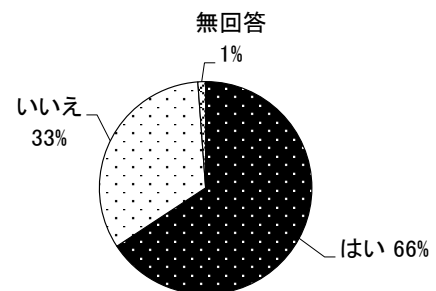
「おかあさん」から本を読んでもらっているという割合が一番多いことは、前回の調査と同じであるが、数値は若干増えている。「その他」の回答は前回より若干割合が減っているが、いとこ・親戚・弟妹をはじめ、学校・図書館・保育所の先生や読み聞かせボランティア等さまざまな人があげられ、子どもたちがいろいろな機会に読み聞かせの体験をしていることがわかる。一方で「読んでもらったことがない」という児童の割合が前回と同数いる。まだ自分で文章を読むことができない子どもたちにとって、耳からお話を聞き、読書を楽しむことは、その後の一人読みのために大切な体験である。子どもたちのために、お話を楽しむ機会を増やしてほしいと思う。

問11 お家の人は、本を読んでいますか。

- ア はい
- イ いいえ
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
274	67%	256	66%	253	64%	783	66%
129	31%	128	33%	137	35%	394	33%
7	2%	2	1%	5	1%	14	1%
410	100%	386	100%	395	100%	1,191	100%

今回のアンケートでは66%の児童が家の人が本を読んでいると答えている。前回は71%だったので、5%減っている。保護者アンケートをみると、問6「あなた自身は、読書が好きですか？」の回答で、中2の保護者以外の全ての保護者で「好き」「どちらかといえば好き」が減っていることと関係していると思われる。本を読むことが「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と答えた保護者の理由は「文章を読むことが苦手」というものが最も多い。「その他」の答えの中に「時間がない」という回答もあることは、前回の調査と変わらない。大人が忙しく、子どもに読書をする姿を見せることができない状況にあることもうかがえる。

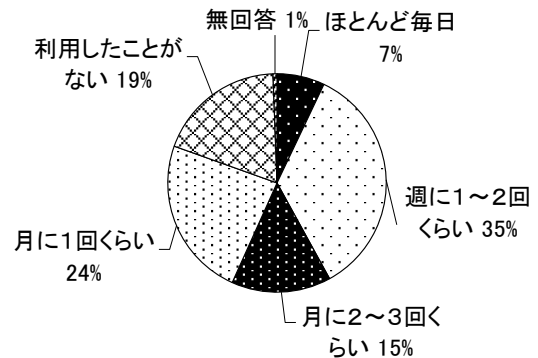


問12 授業時間のほかに学校の図書室をどのくらい利用しますか。
ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほとんど毎日
- イ 週に1～2回くらい
- ウ 月に2～3回くらい
- エ 月に1回くらい
- オ 利用したことがない
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
26	6%	24	6%	34	9%	84	7%
150	36%	137	36%	128	33%	415	35%
57	14%	65	17%	53	14%	175	15%
108	26%	72	19%	102	26%	282	24%
75	18%	82	21%	68	18%	225	19%
3	1%	2	1%	2	1%	7	1%
419	100%	382	100%	387	100%	1,188	100%

前回の調査に比べ、「ほとんど毎日」「週に1～2回くらい」と利用回数が多い児童の割合があわせて13%減少し、「月2回～3回くらい」の児童も7%減少している。逆に「月に1回くらい」利用する児童や「利用したことがない」児童が増加している。次の問13の「利用したことがない」理由の「その他」の回答の中で、「新型コロナウイルス感染症の影響であいていない」と回答している児童が多くいる。また今回の調査時期は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、市内のほとんどの小学校で休み時間の利用を学年やクラスごとで曜日を振り分ける等、利用が制限されていたことも児童の図書室利用状況に影響を与えていると思われる。



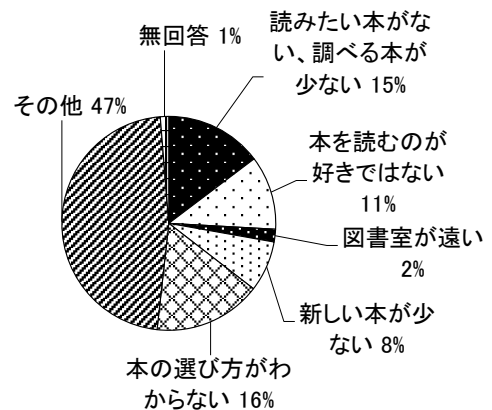
問13 問12でオ「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由は何ですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 読みたい本がない、調べる本が少ない
- イ 本を読むのが好きではない
- ウ 図書室が遠い
- エ 新しい本が少ない
- オ 本の選び方がわからない
- カ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
10	11%	14	14%	22	18%	46	15%
9	10%	11	11%	15	12%	35	11%
2	2%	0	0%	4	3%	6	2%
5	5%	8	8%	11	9%	24	8%
5	5%	7	7%	39	32%	51	16%
62	66%	57	58%	28	23%	147	47%
1	1%	1	1%	2	2%	4	1%
94	100%	98	100%	121	100%	313	100%

- その他の主な意見
- ・行くひま、時間がない(167)
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響であいていない(28)
 - ・外で遊ぶから(20)
 - ・他に用事がある(10)
 - ・授業で借りた本を読んでいるから(4)

今回の調査では、「利用したことがない」理由に「その他」が半数近くいた。最も多かったのは、「行くひま、時間がない」と記述している児童である。前回の調査の時よりさらに児童の学校生活が忙しくなっていることがうかがえる。また、「その他」の理由で「新型コロナウイルス感染症の影響であいていない」と回答する児童も2番目に多くいた。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、多くの小学校で休み時間の図書室の利用が学年やクラスで曜日が振り分けられる等制限されているなかで、「いつでも、だれでも利用できる。」という環境が大切なものであるということがわかる。

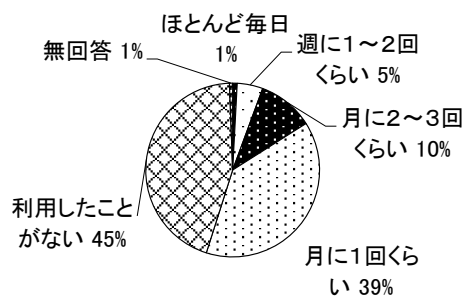


問14 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほとんど毎日
- イ 週に1～2回くらい
- ウ 月に2～3回くらい
- エ 月に1回くらい
- オ 利用したことがない
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
1	0%	7	2%	2	1%	10	1%
26	6%	21	5%	10	3%	57	5%
59	14%	38	10%	27	7%	124	10%
148	35%	145	38%	171	44%	464	39%
180	43%	172	45%	179	46%	531	45%
3	1%	1	0%	3	1%	7	1%
417	100%	384	100%	392	100%	1,193	100%

市の図書館を「利用したことがない」と回答している割合が、前回の33%から45%と増えている。全体の利用回数は減っている。「利用したことがない」理由は、問15で回答されているが、最も多いのは前回と同じく「時間がない」ことだった。その他の回答の記述に学校の図書室の利用と同じく、「新型コロナウイルス感染症の影響であいていない」と回答している児童も数人いる。市立図書館の利用やサービスが制限されていたり、外出そのものが控えられていた時期があったりしたことから、本屋さんで購入したり、家や学校の図書室の本を読んだりする比率が上がっているのではないかとと思われる。

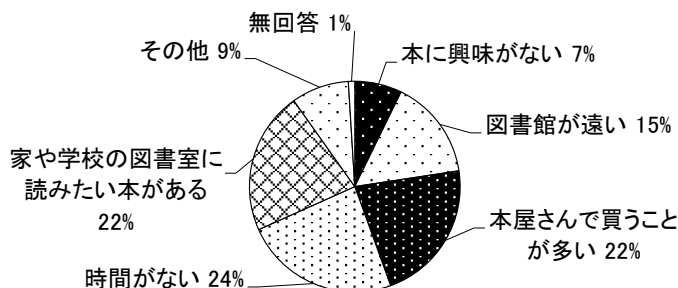


問15 問14でオ「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由は何ですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 本に興味がない
- イ 図書館が遠い
- ウ 本屋さんで買うことが多い
- エ 時間がない
- オ 家や学校の図書室に読みたい本がある
- カ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
17	7%	17	6%	25	9%	59	7%
36	14%	49	18%	40	14%	125	15%
47	18%	67	24%	64	23%	178	22%
63	24%	66	24%	65	24%	194	24%
58	22%	63	23%	57	21%	178	22%
33	13%	16	6%	23	8%	72	9%
5	2%	1	0%	2	1%	8	1%
259	100%	279	100%	276	100%	814	100%

- その他の主な意見
- ・ 図書館の場所を知らない(7)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響であいていない(6)
 - ・ 連れて行ってくれない(5)
 - ・ 図書館の利用カードを持っていない(4)
 - ・ 習い事で行けない



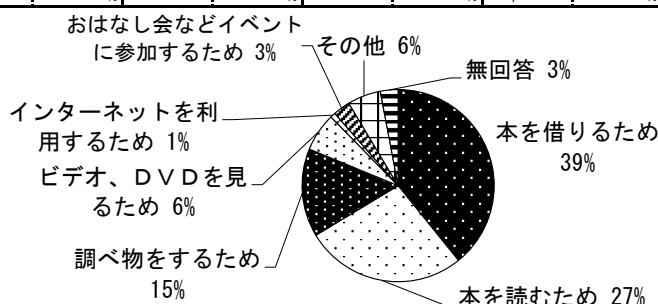
問14でもふれたが、今回の調査では「利用したことがない」理由として、「時間がない」とあわせて「家や学校の図書室に読みたい本がある」「本屋さんで買うことが多い」があげられている。今回は「その他」の記述で「新型コロナウイルス感染症の影響であいていない」と回答した児童もいた。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、市立図書館の利用やサービスが制限されていたことから、本屋さんで購入したり、家や学校の図書室の本を読んだりする比率が上がったのではないかとと思われる。前回より割合は下がったが、「図書館が遠い」「図書館の場所を知らない」「連れて行ってくれない」と回答している児童もいる。市の図書館への移動手段として保護者の協力が必要であり、そのためには保護者の図書館利用に対する関心を高める働きかけが必要になってくるとと思われる。

問16 市の図書館に行くのは何のためですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 本を借りるため
- イ 本を読むため
- ウ 調べ物をするため
- エ ビデオ、DVDを見るため
- オ インターネットを利用するため
- カ おはなし会などイベントに参加するため
- キ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
308	41%	207	36%	261	40%	776	39%
223	30%	153	27%	162	25%	538	27%
103	14%	91	16%	100	15%	294	15%
50	7%	40	7%	38	6%	128	6%
4	1%	7	1%	6	1%	17	1%
26	3%	13	2%	18	3%	57	3%
31	4%	38	7%	42	6%	111	6%
5	1%	24	4%	30	5%	59	3%
750	100%	573	100%	657	100%	1,980	100%

- その他の主な意見
- ・勉強するため(16)
 - ・CD、DVDを借りる(6)
 - ・家族が本を借りるのについていく(5)
 - ・読書感想文の本を借りるため(3)
 - ・学校にない本を借りるため(2)
 - ・どんな本があるのか検索するため(2)
 - ・ひまだから(2)



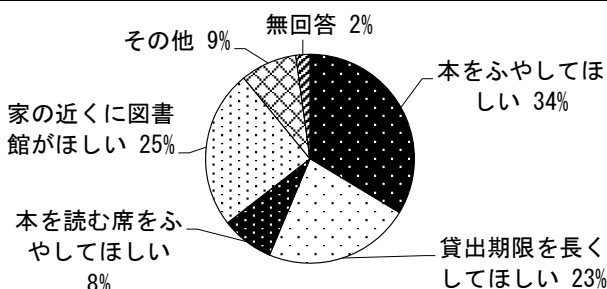
市の図書館を利用する目的についての回答は、「本を借りるため」「本を読むため」が合わせて66%と前回より6%増えている。多くの子どもにとって市の図書館が、読書を楽しむ場としてより定着し、利用されていることがわかる。「調べ物をするため」の回答は今回の学年も15%前後だった。「その他」の回答で「勉強するため」と回答している児童が増えている。小学生のころから知りたいことを解決する場、学習の場として、図書館を利用していることがうかがえる。

問17 市の図書館にこうしてほしいと思うことはなんですか。ひとつえらんで記号に○をしてください。

- ア 本をふやしてほしい
- イ 貸出期限を長くしてほしい
- ウ 本を読む席をふやしてほしい
- エ 家の近くに図書館がほしい
- オ その他
- 無回答
- 合計

4年		5年		6年		合計	
数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合
172	38%	133	31%	141	32%	446	34%
108	24%	102	24%	91	21%	301	23%
37	8%	44	10%	27	6%	108	8%
105	23%	114	26%	107	25%	326	25%
35	8%	28	6%	53	12%	116	9%
1	0%	12	3%	16	4%	29	2%
458	100%	433	100%	435	100%	1,326	100%

- その他の主な意見
- ・マンガを増やしてほしい(8)
 - ・ゲームやスポーツの本を増やしてほしい(3)
 - ・古い本をなくして、新しい本を増やしてほしい(3)
 - ・本の位置をわかりやすくしてほしい(2)
 - ・リクエストの本を買ってほしい(2)



「本をふやしてほしい」「家の近くに図書館がほしい」の回答が多い傾向は前回と同じである。「その他」の回答が増えており、その中でも「マンガ」「ゲーム」「スポーツ」等、児童の好みにあった楽しい本を増やしてほしいという要望が多かった。また少数ではあるが、「本の位置をわかりやすくしてほしい」という図書館の使いやすさを求めるものもあった。児童が「図書館を利用してみよう」と思うことができるように、これからもできることから希望に応える取り組みを実施することが大切ではないかと思われる。

問18 あなたは、どうすればみんながもっと本を読むようになるとおもいますか。

主な意見

◎自分自身に関すること

- ・おすすめの本を紹介する(120)
- ・本の良さを理解する、好きになる(61)
- ・読む時間を増やす(30)
- ・好きな作家、シリーズを見つける(24)
- ・読書する習慣をつける(18)
- ・図書館に行く、誘う(7)
- ・絵本や短い小説でもいいから読んでみて本を好きになる(4)
- ・目標を立てる(3)
- ・絵本から文学、物語に移行する(2)

◎家庭に関すること

- ・家庭で本とふれあう機会をつくる(5)
- ・目につくところに本を置く(4)
- ・家族と一緒に本を読む(4)
- ・家族と一緒に図書館に行く(2)

◎学校に関すること

- ・本を読む時間、図書の時間を増やす、みんなで読む(20)
- ・図書の時間以外にも図書館を利用する(6)
- ・学校で本を読むきっかけを作る(5)
- ・教室に本を置く、増やす(4)
- ・先生にもっと読み聞かせをしてほしい(3)
- ・クラスで目標を決める(3)
- ・図書委員会が働きかける(2)
- ・先生がおすすめの本を紹介する(2)
- ・本を読む宿題を出す(2)

◎図書館(学校、市立)に関すること

- ・面白い本、人気の本を増やす(208)
- ・ポスター、おたより、ポップ等を使って図書館やおすすめの本のPRをする(95)
- ・本に関するイベントを開く(スタンプラリーやゲーム等)(65)
- ・新しい本、雑誌を置く、増やす(43)
- ・いろいろなジャンルの本を置く(33)
- ・マンガを置く、増やす(32)
- ・おすすめの本、人気の本のコーナーを作る(30)
- ・読みやすい本を増やす(28)
- ・本を読んだ人にしおり等のプレゼントを渡す(28)
- ・アンケート、リクエストをとる(26)
- ・読み聞かせ、おはなし会を増やす(15)
- ・貸出期間を長くする、冊数を増やす(11)
- ・新聞や放送等で図書館の利用を呼び掛ける(9)
- ・利用したくなるような使いやすい図書館にする(7)
- ・本の置き方を工夫する(5)
- ・AV資料(CD, DVD)を置く、増やす(3)
- ・児童書を増やす(2)
- ・人気の本は複本を用意する(2)

◎行政に関すること

- ・図書館の数を増やす、家の近くにほしい(30)
- ・移動図書館をつくる(7)
- ・図書館を広くする、席や貸出カウンターを増やす(6)
- ・図書館の中に食べ物を買えるお店をつくる(4)
- ・図書館に子どもが遊べるスペースをつくる(3)
- ・図書館行きのバスをつくってほしい(3)

◎その他

- ・小説に絵を増やす(3)
- ・本が安く買えるようにする(2)

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 中学校

令和2年11月実施

学校名 市内中学校 2学年

【八田・巨摩・御勅使・芦安・若草・櫛形・甲西・子どもの村】

調査生徒数 548人

回答者数 495人

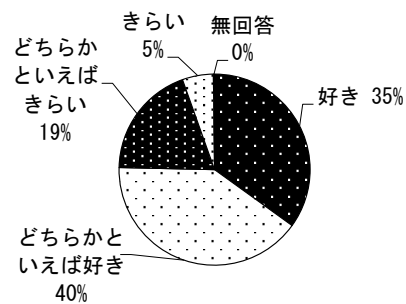
回答率 90%

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえばきらい
- エ きらい
- 無回答
- 合計

数値	割合
173	35%
200	40%
95	19%
26	5%
1	0%
495	100%

75%が読書を「好き」「どちらかといえば好き」と答え、前回よりも減少した。一方で24%が「どちらかといえばきらい」「きらい」と答え、前回よりも増加した。これは、小学生の13%と比較しても高い数値だといえる。中学生になると、学習や部活動、行事等の取り組みに割く時間が増え、本とふれあう時間を確保することが難しくなる。そのため、本を読む生徒と読まない生徒の二極化が起こり、読書量の格差が生じてしまうのではないかと考えられる。思春期の豊かな心を育てていく大切な時期に、読書への関心を高めるための環境作りが必要だと思われる。また、小中学生ともに「好き」「どちらかといえば好き」の割合が5%以上減少していることから、スマートフォン等の普及による子どもの読書環境への影響の可能性が考えられる。

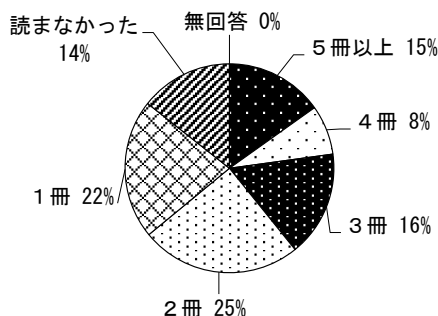


問2 あなたは、10月1ヶ月の間に、教科書、雑誌、マンガ以外の本を何冊読みましたか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 5冊以上
- イ 4冊
- ウ 3冊
- エ 2冊
- オ 1冊
- カ 読まなかった
- 無回答
- 合計

数値	割合
75	15%
38	8%
81	16%
123	25%
107	22%
71	14%
0	0%
495	100%

前回の調査と比べ、「5冊以上」読む生徒が10%減少している。今回の調査時期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の多い2学期に変更になったため、前回の調査時よりも読書に割ける時間が確保しづらかった可能性があると考えられる。また、「読まなかった」生徒が小学生の4%と比較すると14%と高く、課題としてあげられる。今後も中学生の不読率を下げていくためにも、学校での読書時間の確保と、読書習慣の形成に向けて効果的な取り組みを行っていくことが重要となってくる。

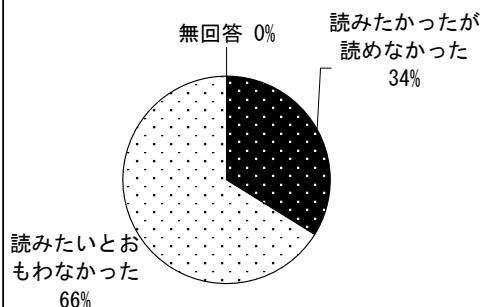


問3 問2で「読まなかった」を選んだ人に聞きます。それはどうしてですか。どちらかの記号に○をつけてください。

- ア 読みたかったが読めなかった
- イ 読みたいとおもわなかった
- 無回答
- 合計

数値	割合
23	34%
45	66%
0	0%
68	100%

「読まなかった」生徒の66%が「読みたいとおもわなかった」と答えている。前回よりは減少しているものの、半数以上を占めた。生徒の中には、小学生の頃は本を読んでいても、中学生になると多忙さから読書離れが進んでしまうケースも見られる。原因の一つとして、幼少期からの読書習慣が形成されていないことが考えられる。そのため、小学生の頃から本に親しみ、読む力を身につけていくことが必要だと思われる。また、「読みたかったが読めなかった」生徒の割合は34%と前回よりも微増している。このように日々時間に追われる中学生に対し、家庭や学校で連携をして、主体的に読書に親しむ時間を作る手助けをしていくことが大切だと思われる。

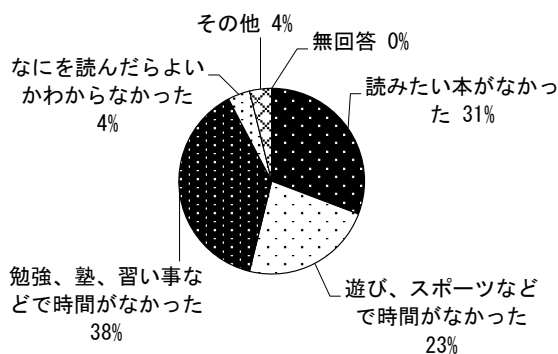


問4 問3でア「読みたかったが読めなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 読みたい本がなかった
- イ 遊び、スポーツなどで時間がなかった
- ウ 勉強、塾、習い事などで時間がなかった
- エ なにを読んだらよいかわからなかった
- オ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
8	31%
6	23%
10	38%
1	4%
1	4%
0	0%
26	100%

「読みたい本がなかった」と答えた生徒が31%で前回よりも増加した。また、「遊び、スポーツなどで時間がなかった」や「勉強、塾、習い事などで時間がなかった」が過半数を占める結果となった。中学生になると、学校生活以外に塾や習い事に時間を割くことが多く、朝読書の時間でしか本を読まない生徒もいる。その反面、毎月多くの本を読む生徒もいる。このことから、中学校での朝読書の時間は生徒の読書時間の確保のために貴重な機会だということが分かる。また、生徒が自主的に読書に割く時間を作り出すには、読書に興味関心を持ってもらえるような工夫が必要だと思われる。そのため、図書室ではおたよりや展示等で読書の魅力を紹介し、「読みたい本がなかった」「なにを読んだらよいかわからなかった」生徒に対しても積極的に声かけをし、人と本をつなぐ架け橋になることが望まれる。

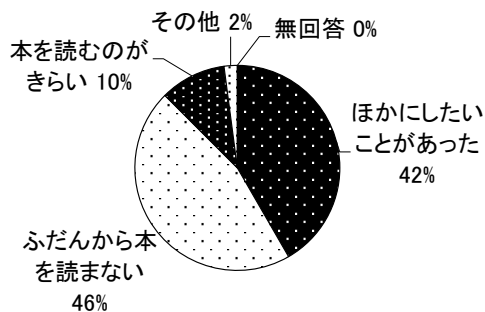


問5 問3で「読みたいとおもわなかった」を選んだ人に聞きます。それはなぜですか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほかにしたいことがあった
- イ ふだんから本を読まない
- ウ 本を読むのがきらい
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
・マンガを読んでいたため

数値	割合
20	42%
22	46%
5	10%
1	2%
0	0%
48	100%

「ほかにしたいことがあった」42%、「ふだんから本を読まない」46%が大多数を占め、前回よりも増加した。このことから、問1で示したスマートフォン等の普及による子どもの読書環境への影響が感じられる。また、「本を読むのがきらい」は10%と、前回よりも大幅に減少したが、これらの読書に興味関心が薄い生徒には本を読む楽しさを伝えていくことが必要だと思われる。そのため、周りの大人たちが幼少期から子どもの発達段階に合った読書をすすめ、継続して本とのつながりを作ってあげることが、成長してからの読書習慣の形成につながっていくのではないだろうか。

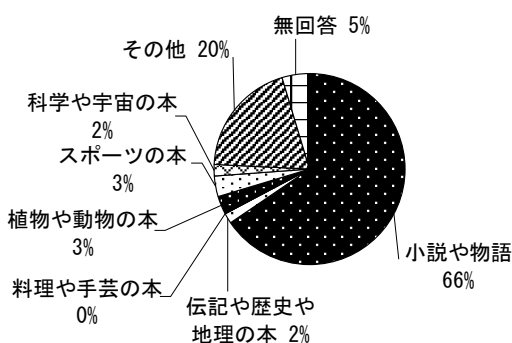


問6 あなたは、最近どんな本を読んでいますか。

- ア 小説や物語
- イ 伝記や歴史や地理の本
- ウ 料理や手芸の本
- エ 植物や動物の本
- オ スポーツの本
- カ 科学や宇宙の本
- キ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
338	66%
9	2%
0	0%
16	3%
18	3%
10	2%
101	20%
24	5%
516	100%

66%の生徒が「小説や物語」を読んでおり、前回よりも微増した。その他の分野の割合も同様にほぼ変化がなかった。また、小学校の調査も割合がほぼ同じである。全体を見ると、「小説や物語」以外の分野はあまり読まれておらず、今後の課題といえる。思春期の心と体が大きく成長する時期に、さまざまな分野の本を手に取り視野を広げることは、その後の読書習慣の形成にも大きく関わってくるとされる。そのため、図書館でのテーマ展示や本の紹介等、文学以外の資料にも興味関心を持ってもらえるような働きかけが必要だと考える。



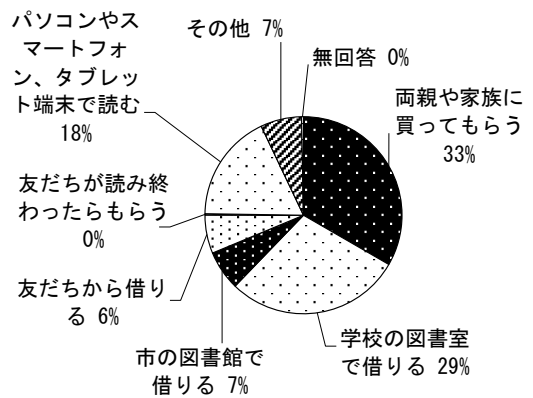
問7 あなたは、読みたい本をどのようにして用意しますか。
あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 両親や家族に買ってもらう
 - イ 学校の図書室で借りる
 - ウ 市の図書館で借りる
 - エ 友だちから借りる
 - オ 友だちが読み終わったらもらう
 - カ パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む
 - キ その他
- 無回答
合計
その他の主な意見
- ・自分で買う(60)
 - ・家にある本
 - ・学級文庫から選ぶ
 - ・家族から借りる

数値	割合
307	33%
266	29%
60	7%
58	6%
2	0%
163	18%
62	7%
3	0%
921	100%

「両親や家族に買ってもらう」と回答した生徒が33%いる。この結果から、多くの家庭で子どもの読書に対する理解があることがうかがえる。また、「学校の図書室で借りる」と回答した生徒が、本を買ってもらうと回答した生徒と同程度いるのも喜ばしい。学校では今後も魅力ある図書室になるよう、資料の充実や蔵書構成の質を向上させる努力が求められる。

その他、「友だちから借りる」が前回よりも微減し、「パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む」が18%と前回よりも増加した。これは、パソコン・スマートフォンの普及や電子書籍の浸透による読書環境の変化で、これまでよりも気軽に利用する生徒が増加したからだと考えられる。情報環境の変化が子ども達の読書環境にどのような影響を与えるのか、今後も注視していく必要がある。



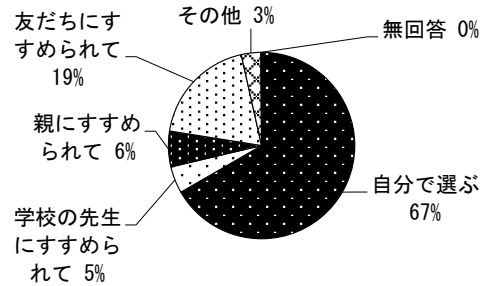
問8 あなたは、読む本をどのようにして選んでいますか。
あてはまる記号すべてに○をしてください。

- ア 自分で選ぶ
- イ 学校の先生にすすめられて
- ウ 親にすすめられて
- エ 友だちにすすめられて
- オ その他
- 無回答
- 合計

その他の主な意見

- ・インターネットのランキングやおすすめ(10)
- ・兄弟にすすめられて(2)
- ・好きなアーティストが読んだ本、表紙など
- ・雑誌でチェックする
- ・メディア化されたもの
- ・コーチにすすめられて

数値	割合
474	67%
33	5%
44	6%
135	19%
24	3%
1	0%
711	100%

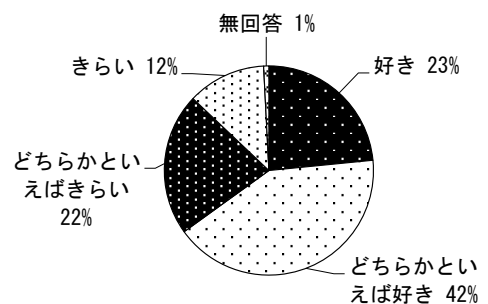


「自分で選ぶ」が67%と最も多く、ほとんどの生徒が自分の興味関心のある本を選んで読んでいる傾向がうかがえる。次に「友だちにすすめられて」を19%の生徒が回答しており、友だちや身近な人からすすめられた本は手に取りやすく、読書への関心を高めるきっかけになるものと思われる。一方で、親や先生からも子どもの発達段階に合った本を紹介していくことが必要だと思われる。子どもたちと話題を共有する意味でも、今どのような本が読まれているのか、何に関心を持っているのか等、常にアンテナを高くして図書館資料の充実を図ることが大切だろう。また、前回2人だったインターネットのランキングやおすすめが10人に増えていることに注目したい。今後ますますインターネットの利用が増えていく中で、このツールをどのように読書活動の推進に取り入れていくかが重要ではないだろうか。

問9 あなたは、本を読んでもらうことが好きですか。(好きでしたか。)
ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえばきらい
- エ きらい
- 無回答
- 合計

数値	割合
116	23%
206	42%
109	22%
60	12%
4	1%
495	100%



「好き」「どちらかといえば好き」と回答した生徒は65%で、前回よりも増加したが、小学校の同調査結果の79%と比較すると減少している。これは、中学生になると読み聞かせの機会が減り、主体的な読書へ移行していることが要因として考えられる。自分の興味関心に沿った読書も必要だが、朗読によって耳から入る言葉の響きを感じながら物語の情景を味わうことも大切だと考える。幼少期から読み聞かせに親しんでいる生徒であれば、成長してもその良さを覚えているのではないだろうか。「きらい」と回答している生徒にも、少しでもその楽しさを感じてもらえる機会を作ることが必要だろう。

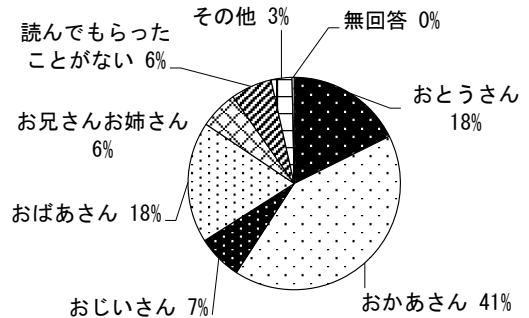
問10 あなたは、いままでに家族から本を読んでもらったことがありますか。
(ありましたか。) あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア おとうさん
- イ おかあさん
- ウ おじいさん
- エ おばあさん
- オ お兄さんお姉さん
- カ 読んでもらったことがない
- キ その他
- 無回答
- 合計

その他の主な意見

- ・ 親戚 (3)
- ・ いとこ (2)
- ・ 保育園や学校の先生 (2)
- ・ 学校や図書館のおはなし会
- ・ 曾祖父母

数値	割合
161	18%
378	41%
62	7%
168	18%
53	6%
57	6%
29	3%
3	0%
911	100%



多くの生徒が両親ばかりではなく、家族や周りの大人から本を読んでもらっていることがわかる。特に家庭の中で読み聞かせの機会があることはとても喜ばしい。一方で、6%の生徒が「読んでもらったことがない」と回答している。前回よりも減少したが、このような家庭のためにも、子どもと一緒に本を読む時間は家族の大切なふれあいの場になるということ伝えていくことが大切だと思われる。今回の調査で回答した生徒は、平成15年から始まった市のブックスタート事業（赤ちゃんが初めてであう絵本として4か月児健診時に絵本を手渡す活動）で本を受け取った子どもたちであり、今後も市のブックスタート事業、セカンドブック事業（読書活動をとおして言葉を学び、豊かな想像力が身につくよう願いを込めて、小学1年生に本を手渡す活動）を継続していくことで、「読んでもらったことがない」生徒の割合が減少していくことを期待したい。

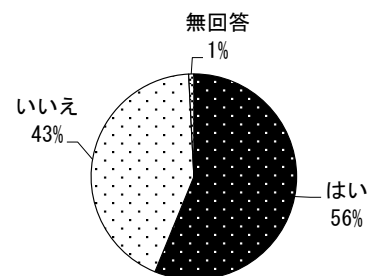
問11 お家の人は、本を読んでいますか。

- ア はい
- イ いいえ
- 無回答
- 合計

数値	割合
277	56%
212	43%
4	1%
493	100%

半数以上の生徒が「はい」と答えている。一番身近な存在である家族が読書をする姿は、子どもの読書環境に大きな影響を与えていると思われる。

読書活動の推進には、身近な大人の読書に対する姿勢や、気軽に本を手取ることのできる環境作りがとても大切である。家庭における読書活動支援としては、山梨県の「しなやかな心の育成プロジェクト」の中で取り組んでいる家読推進運動（家族みんなで好きな本を読んで読んだ本について話す活動）が挙げられる。子どもを中心に家族で同じ本を読み交流することは、絆が深まるだけでなく、子どもの心の成長に関わる大切な要素になると考えるため、今後も取り組みを推進していく必要があると思われる。



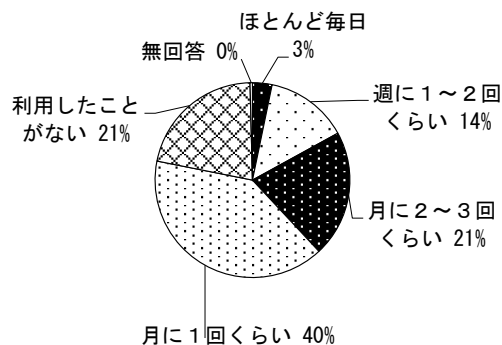
問12 授業時間のほかに学校の図書室をどのくらい利用しますか。
ひとつえらんで記号に○をつけてください。

- ア ほとんど毎日
- イ 週に1～2回くらい
- ウ 月に2～3回くらい
- エ 月に1回くらい
- オ 利用したことがない
- 無回答
- 合計

数値	割合
16	3%
68	14%
104	21%
198	40%
106	21%
2	0%
494	100%

「ほとんど毎日」図書室を利用している生徒は3%で、前回よりも減少した。また、78%の生徒が月に何回かは図書室を利用しており、最も多いのは月に1回程度利用の40%だった。一方で、「利用したことがない」生徒も21%いる。割合が前回よりも増加したのは、学校生活が多忙であることを差し引いても、図書室に足が向かない生徒が一定数いるという現状があるからだろう。

学校の図書室は、このような現実に対する手立てとして、生徒が読書への関心を持つような取り組みを行っていくことが求められる。また、気軽に来られる環境作りを目指すと同時に、教諭と連携し授業でも活用してもらえよう働きかけをしていくことも必要だと考える。



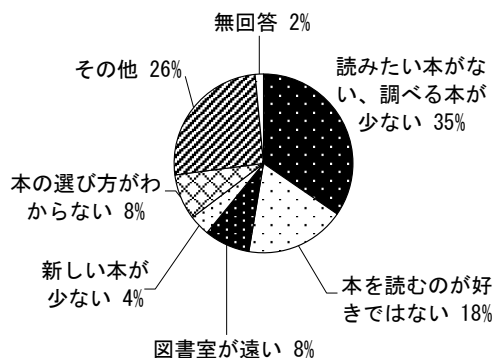
問13 問12でオ「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由は何ですか。
あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 読みたい本がない、調べる本が少ない
- イ 本を読むのが好きではない
- ウ 図書室が遠い
- エ 新しい本が少ない
- オ 本の選び方がわからない
- カ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
46	35%
24	18%
11	8%
5	4%
11	8%
34	26%
2	2%
133	100%

- ・ 行く時間がない(13)
- ・ 図書館に行くのがめんどろ(3)
- ・ 人が多いところがにがて
- ・ 返却日までに読み終わらない
- ・ 自分が持っている本で満足している(6)
- ・ 他にやりたいことがある(3)
- ・ 市立図書館に行くから

利用しない理由に35%の生徒が「読みたい本がない、調べる本が少ない」と答えており、前回よりも増加した。同じく「本を読むのが好きではない」が18%で増加し、「図書室が遠い」の8%と「新しい本が少ない」の4%は減少した。施設の配置変更は難しいが、心理的に図書室が身近な存在として感じられるような運営を心がけ、図書室に足が向かない生徒も気軽に立ち寄れる雰囲気作りができると良いのではないだろうか。また、蔵書整理や新刊の補充、調べ学習のサポートや本の選び方のアドバイス等を行い、図書室に行けば知りたいことが分かると生徒に認識してもらうことが必要だと考える。



問14 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。ひとつえらんで記号に○をつけてください。

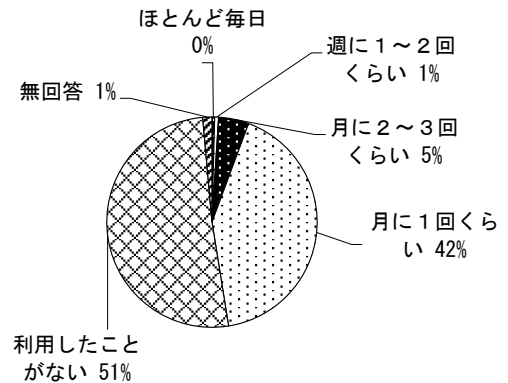
- ア ほとんど毎日
- イ 週に1～2回くらい
- ウ 月に2～3回くらい
- エ 月に1回くらい
- オ 利用したことがない
- 無回答
- 合計

数値	割合
2	0%
3	1%
23	5%
207	42%
253	51%
7	1%
495	100%

利用頻度は異なるものの、なんらかの形で市の図書館を利用している生徒が48%おり、中でも「月に1回くらい」利用している生徒が最も多かった。

また、「利用したことがない」が51%と前回よりも多く、半数以上の生徒が図書館を利用していないという結果になった。今年新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための市立図書館の休館期間があり、現在も一部制限付きの開館となっている。こうした環境も原因の一つではないだろうか。生徒たちからは“外出自粛期間中は図書館に行くことができなくて残念だった”という声も聞こえた。

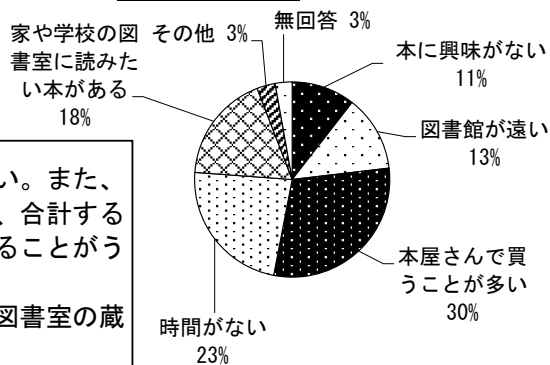
市立図書館は、各中学校区内に設置されているため、生徒には学校図書館と市立図書館それぞれの良さを知ってもらい、少しでも未利用者が減るような工夫が必要だ。そのためには、中学生向けの事業や資料を充実させ、気軽に立ち寄ることができる公共施設としてPRしていくことが大切だろう。



問15 問14でオ「利用したことがない」を選んだ人に聞きます。利用しない理由はなんですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 本に興味がない
- イ 図書館が遠い
- ウ 本屋さんで買うことが多い
- エ 時間がない
- オ 家や学校の図書室に読みたい本がある
- カ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・行くのがめんどろ(2)
 - ・場所がわからない
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響

数値	割合
45	11%
54	13%
128	30%
99	23%
77	18%
13	3%
12	3%
428	100%



前回同様「本屋さんで買うことが多い」が30%と最も多い。また、「家や学校の図書室に読みたい本がある」は18%とあり、合計すると半数近くが、何らかのかたちで本と関わる生活環境であることがうかがえる。

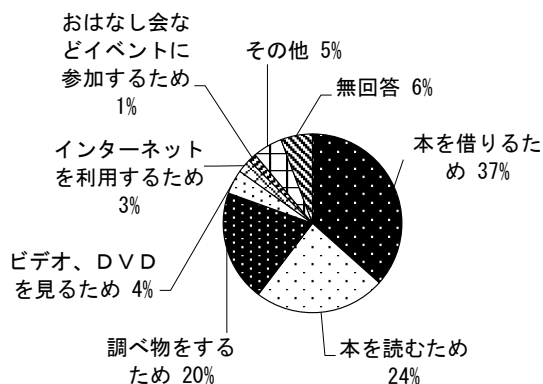
身近に本があり、読書ができる環境であることや、学校の図書室の蔵書に魅力があるというのは好ましい。

反面、「時間がない」23%、「本に興味がない」11%は前回よりも増加した。これらの生徒には、少しでも読書に関心を持ってもらえるよう、学校と連携し取り組みを行っていくことが重要だと考えられる。その他、「図書館が遠い」の13%については、市立図書館は各中学校区内にあるため、必要に応じて中央館と地域館を使い分けるといった活用も含めて、学校側からも市内の図書館サービスについての紹介を行う必要があるだろう。

問16 市の図書館に行くのは何のためですか。あてはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア 本を借りるため
- イ 本を読むため
- ウ 調べ物をするため
- エ ビデオ、DVDを見るため
- オ インターネットを利用するため
- カ おはなし会などイベントに参加するため
- キ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・宿題、勉強するため(31)
 - ・ひまつぶし

数値	割合
300	37%
195	24%
165	20%
36	4%
21	3%
12	1%
44	5%
47	6%
820	100%



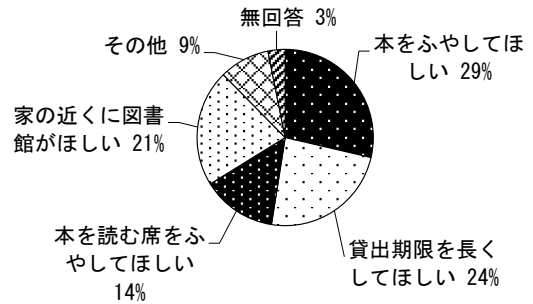
「本を借りるため」「本を読むため」「調べ物をするため」の順に多く、大多数を占めている。また、ビデオ・DVD鑑賞やインターネットの利用、「その他」の主な意見である勉強も含め、目的によってさまざまな利用をしていることが分かる。多くの中学生に足を運んでもらえるよう、蔵書の充実を図るとともに、学校図書館と連携して様々なサービス・イベント等の発信に取り組んでいくことが望まれる。

問17 市の図書館にこうしてほしいと思うことはなんですか。
ひとつえらんで記号に○をしてください。

- ア 本をふやしてほしい
- イ 貸出期限を長くしてほしい
- ウ 本を読む席をふやしてほしい
- エ 家の近くに図書館がほしい
- オ その他
- 無回答
- 合計

- その他の主な意見
- ・マンガやライトノベルを置いてほしい(5)
 - ・学習席を増やしてほしい(5)
 - ・開館時間を長くしてほしい
 - ・小さい子と場所を分けてほしい
 - ・月曜も開館してほしい
 - ・パソコンを増やしてほしい

数値	割合
155	29%
129	24%
74	14%
116	21%
50	9%
17	3%
541	100%



「本をふやしてほしい」と回答した生徒は29%で、前回よりも減少したが、今後も学校・市双方の図書館の蔵書構成が魅力的なものとなるよう努めていくべきだろう。あわせて、最寄りの図書館に所蔵が無い場合も、山梨県図書館情報ネットワーク（県内図書館蔵書検索システム）を活用することで、気軽に読みたい本を手にとることができると周知していく必要がある。

「貸出期限を長くしてほしい」の24%は前回よりも増加した。中学生になり、知的興味の幅が広がることで読書の質も上がるため、限られた時間の中で読み進めるには期限が短く感じられるのではないかと考えられる。多忙な中学生に気軽に図書館を利用してもらうためにも、電子書籍等の導入についても検討していくべきではないだろうか。また、「その他」で寄せられた様々な意見に耳を傾けると共に、今後も生涯にわたって図書館を活用してもらえるよう、学校と連携して情報を発信していくことが大切だと考える。

問18 あなたは、どうすればみんながもっと本を読むようになるとおもいますか。

主な意見

- ◎自分自身に関すること
 - ・おすすめの本を紹介する(80)
 - ・本を読む時間を作る、増やす(37)
 - ・読みやすい本から読む(21)
 - ◎家庭に関すること
 - ・目につくところに本を置く(12)
 - ◎学校に関すること
 - ・学校で図書の時間を増やす、みんなで読む(20)
 - ・先生がおすすめの本を紹介する(3)
 - ◎図書館（学校、市立）に関すること
 - ・面白い本、人気の本を増やす(47)
 - ・いろいろな種類の本を置く(22)
 - ・本に関するイベントを開催する(スタンプラリー、ゲーム等)(18)
 - ・読みやすい本を増やす(8)
 - ・マンガやノベライズ本を置く、増やす(11)
 - ・インターネット、テレビ等で図書館、本の宣伝をする(7)
 - ・利用したくなるような魅力的な図書館にする(4)
 - ・アンケートで人気の本を紹介する(3)
 - ・本を読んだ人にしおり等のプレゼントを渡す(3)
 - ◎行政に関すること
 - ・図書館の数を増やす(12)
 - ◎その他
 - ・おもしろい本をつくる(6)
 - ・流行りのアニメやドラマを小説化する(3)
 - ・子どもの読みたい本を作してほしい
- ・読書の楽しさ、大切さを伝える・知る(62)
 - ・好きな作家、本、シリーズを見つける(22)
 - ・教室にたくさんの種類の本を置く(3)
 - ・ポスター、おたより、ポップ等でPRをする(34)
 - ・新刊を置く、増やす(6)
 - ・貸出期限を長くする、冊数を増やす(3)
 - ・図書館を広げる、席や窓口を増やす

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 3歳児保護者

令和2年11月実施

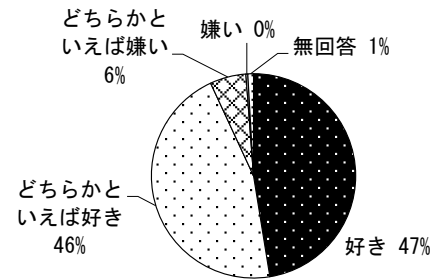
対象 市内保育所・幼稚園 3歳児保護者
 【八田・巨摩・白根・百田・白根東・芦安・若草・マコト愛児園・たちばな
 ・十日市場・櫛形中央・櫛形北・櫛形西・豊・さくらんぼ・落合・大明
 ・南湖・ポップの家】
 【御勅使・小笠原】

調査保護者数 388人
 回答者数 336人 (うち父14人/うち母303人/その他1人/無回答18人)
 回答率 87%

問1 あなたのお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
158	47%
152	46%
19	6%
1	0%
3	1%
333	100%

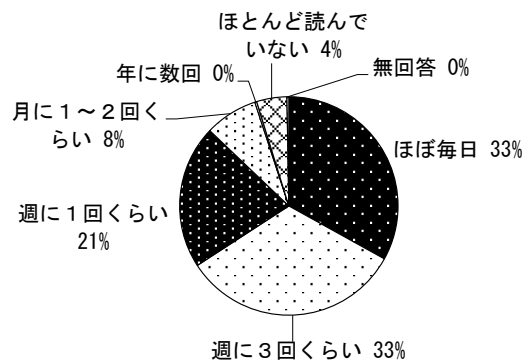


「好き」「どちらかといえば好き」が93%で前回の調査と比べると4%減少した。また「どちらかといえば嫌い」「嫌い」が前回の調査と比べると4%増加しており、子どもの興味が本以外に向いていることが予想される。読書以外に娯楽が多様化する中で、子どもが本好きになる環境づくりの工夫が必要だと思われる。

問2 あなたのお子さんは、教科書、雑誌、マンガ以外の本をどのくらい読んでいますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1~2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んでいない
- 無回答
- 合計

数値	割合
118	33%
117	33%
76	21%
28	8%
1	0%
16	4%
1	0%
357	100%



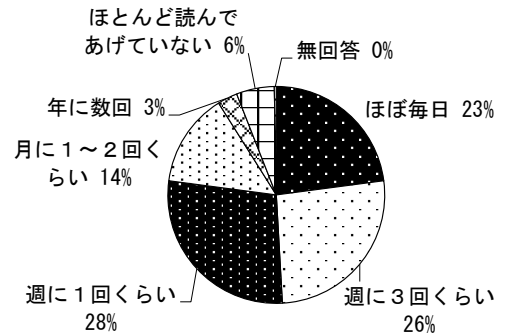
内訳をみると「週に1回くらい」が前回の調査より3%増加しているが、週1回以上本を読んでいるという回答が87%で、前回より4%減少している。本を読む習慣が減少していることがわかる。パソコン・スマートフォン等の普及や娯楽の多様化の影響がうかがえる。また、3才児は親による読み聞かせも多いことから、親が忙しく子どもに本を読んであげるゆとりがない様子が想像できる。

問3 ご家庭では、お子さんに本をどのくらい読んであげていますか。(いましたか。) あてはまる記号に○をつけてください。

- ア ほほ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1~2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んであげていない
- 無回答
- 合計

数値	割合
77	23%
88	26%
94	28%
47	14%
10	3%
19	6%
1	0%
336	100%

週1回以上読んであげている家庭が77%であり、前回の調査と比べると8%減少している。「年に数回」「ほとんど読んであげていない」は前回の調査と比べると5%増加している。子どもに本を読んであげる時間が、なかなかとれない状況がわかる。「月に1~2回くらい」は前回より4%増加しており毎日ではなくても読んであげている様子がわかる。家庭における読書の習慣付けの重要性を伝えていくことが課題だと思われる。

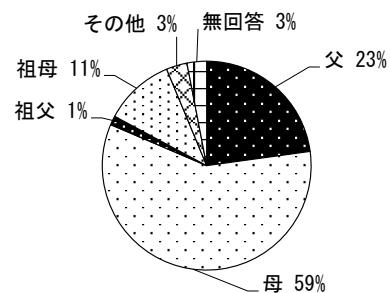


問4 それは、主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか。(いましたか。) あてはまる記号にすべて○をつけてください。

- ア 父
- イ 母
- ウ 祖父
- エ 祖母
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・兄、姉(2)
 - ・叔母
 - ・曾祖母

数値	割合
113	23%
290	59%
7	1%
54	11%
16	3%
15	3%
495	100%

両親が読んであげる家庭が82%で、前回の調査と比べると変化がなかった。内訳も「母」59%「父」23%と前回の調査と変化がなかった。前々回とも同じ結果で、両親を中心に本を読んであげることが定着していることがわかる。その他の結果も「祖父」1%「祖母」11%と前回の調査とほぼ変化がなく、家庭全体で子どもの読書に取り組んでいることがうかがえる。このまま継続していけるように家庭での協力が望まれる。



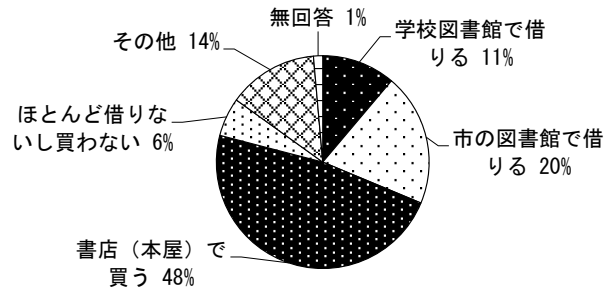
問5 あなたは、お子さんの本をどのようにして用意しますか。
一番多い方法に○をつけてください。

- ア 学校図書館で借りる
- イ 市の図書館で借りる
- ウ 書店（本屋）で買う
- エ ほとんど借りないし買わない
- その他
- 無回答
- 合計

その他の主な意見

- ・もらう（親戚、知人等）(12)
- ・家にある本(11)
- ・絵本定期購読(8)
- ・園の月刊誌(8)
- ・保育園で定期購入(6)
- ・親戚からプレゼント(5)
- ・スマホアプリ(2)
- ・中古やネット(2)
- ・市外（職場）の図書館

数値	割合
40	11%
72	20%
171	48%
21	6%
49	14%
5	1%
358	100%

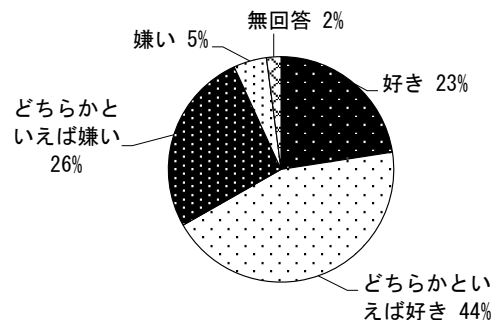


「市の図書館で借りる」が前回の調査と比べると5%減少している。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による市の図書館利用への制限の影響があると考えられる。「書店（本屋）で買う」が前回の調査と比べると4%増加している。「ほとんど借りないし買わない」は前回の調査と比べると1%増加している。ブックスタート事業等、あらゆる機会をとおして乳幼児期から身近に本を置く読書環境が大切であることを、保護者に伝えることが必要だと思われる。

問6 あなた自身は、読書が好きですか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
76	23%
149	44%
89	26%
16	5%
7	2%
337	100%

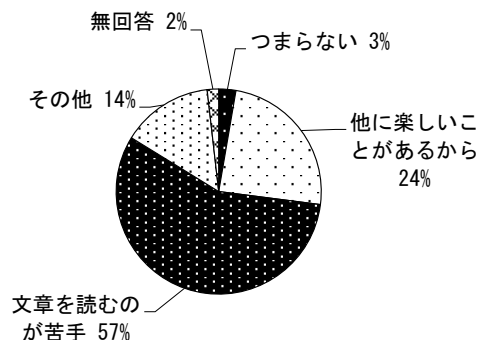


67%が「好き」「どちらかといえば好き」と答え、前回の調査と比べると4%減少している。一方「どちらかといえば嫌い」「嫌い」が31%で前回の調査と比べると2%増加している。読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取り組みを推進していく過程で、読書が乳幼児期の子どもに大切な影響を与えることを考えても、引き続き保護者に積極的に働きかけていくことが必要だと思われる。

問7 問6でウ「どちらかといえば嫌い」、エ「嫌い」を選んだ人にお伺いします。その理由は何ですか。

- ア つまらない
- イ 他に楽しいことがあるから
- ウ 文章を読むのが苦手
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・時間がない(6)
 - ・途中で飽きてしまう(2)
 - ・面倒
 - ・習慣がない
 - ・疲れていて本を開く気持ちになれない
 - ・他にしなくてはならないことがある

数値	割合
3	3%
27	24%
63	57%
16	14%
2	2%
111	100%

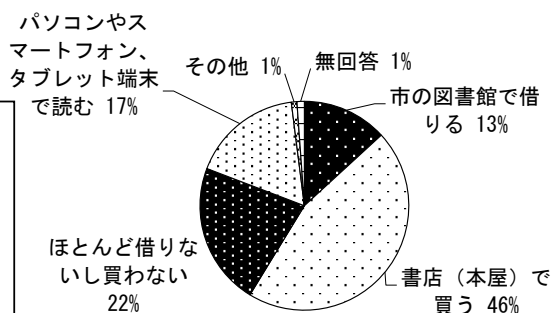


「他に楽しいことがあるから」が前回の調査と比べると5%増加した。子どもを取り巻く環境が年々変化する中で、子どもたちの一番身近にいる保護者に対し、興味の対象を読書に向けてもらうための工夫と、苦手意識を無くしてもらう働きかけが大切だと思われる。

問8 あなたは、ご自分が読む本をどのようにして用意しますか。一番多い方法に○をつけてください。

- ア 市の図書館で借りる
- イ 書店（本屋）で買う
- ウ ほとんど借りないし買わない
- エ パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・家族の本を読む(2)
 - ・インターネットで中古本を買う(2)

数値	割合
46	13%
159	46%
77	22%
60	17%
3	1%
4	1%
349	100%



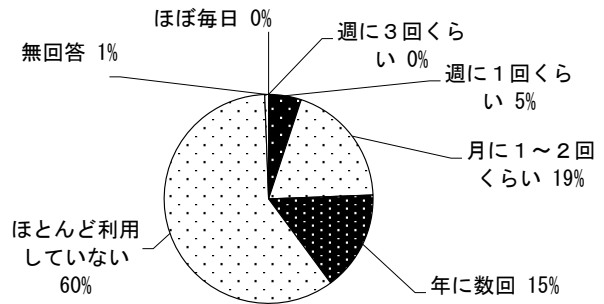
「市の図書館で借りる」は前回は21%で、8%減少しており、「書店で買う」は前回は52%で、6%減少している。一方「パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む」が前回の調査と比べると11%増加しており、この5年間で大幅に増加していることがわかる。読書の手段として電子書籍で読む方法が普及していることがうかがえる。図書館でも、新たな読書活動に対応できる取り組みが必要だと思われる。

問9 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど利用していない
- 無回答
- 合計

数値	割合
0	0%
0	0%
17	5%
65	19%
52	15%
200	60%
2	1%
336	100%

「ほとんど利用していない」が前回の調査と比べると11%増加しており、全体の半数以上を占める結果となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、図書館の利用制限があったことが影響していると思われる。ブックスタート事業やおはなし会等、あらゆる機会をとおして図書館に足を向けてもらうことが大切だと思われる。

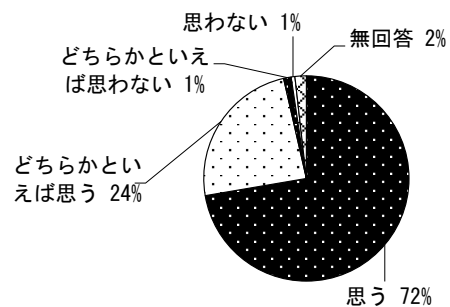


問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

- ア 思う
- イ どちらかといえば思う
- ウ どちらかといえば思わない
- エ 思わない
- 無回答
- 合計

数値	割合
243	72%
81	24%
4	1%
2	1%
6	2%
336	100%

「思う」「どちらかといえば思う」が96%で、前回の調査と比べると1%減少したがほとんどの保護者が本を読むことの大切さを認識している。パソコンやスマートフォンの普及等環境の変化が、子どもの読書環境にどのように影響しているか、実態を把握・分析し、読書に対する親の意識を子どもの読書活動へどのように反映させていくかが大きな課題であると思われる。



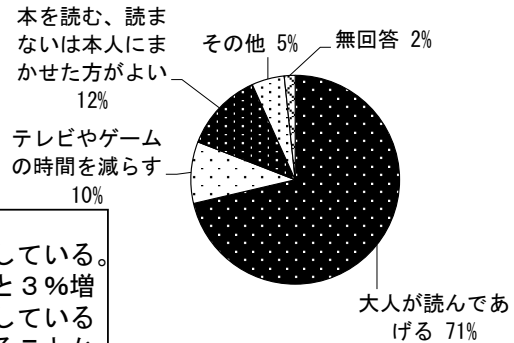
問11 あなたのお子さんが、どうすれば本を読むようになると思いますか。

- ア 大人が読んであげる
- イ テレビやゲームの時間を減らす
- ウ 本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい
- エ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
254	71%
34	10%
44	12%
18	5%
6	2%
356	100%

その他の主な意見

- ・大人が読んでいる姿を見せる(10)
- ・子どもが興味のある本を選ぶ(6)
- ・本を手に取りやすい環境をつくる(5)
- ・本を読む時間を作る、決めておく(5)
- ・親子で書店や図書館に行き本を選ぶ(3)



「大人が読んであげる」が前回の調査と比べると6%減少している。「テレビやゲームの時間を減らす」が前回の調査と比べると3%増加している。子どもたちの娯楽の多様化が読書離れに影響していると考えられる。また大人の姿が子どもに大きな影響を与えることから、保護者の読書への意識を高めることが望まれる。

問12 子どもの読書活動をすすめるために、あなたはどんなことをしたらよいとおもいますか。

主な意見

◎家庭に関すること

- ・読み聞かせをする、子どもと一緒に本を読む(76)
- ・本が身近にある環境をつくる、たくさんの本にふれさせる(54)
- ・子どもの年齢や興味・関心に合う本を用意する(40)
- ・読み聞かせの習慣をつける(38)
- ・図書館や書店に行く(35)
- ・家族で本を読む時間をつくる、増やす(28)
- ・親が読書する姿を見せる、本に関心を持つ(26)
- ・いつでも自由に手に取れる場所に本を置く(8)
- ・子どもが自分で好きな本を選ぶ機会をつくる(3)
- ・本と体験を結びつける(3)

◎保育所に関すること

- ・読書の時間をつくる、先生が読み聞かせをする(5)
- ・保育所等での本の貸出機会を増やす(3)
- ・保育所や市などから、おすすめの本の一覧表を配布する(2)
- ・友達と一緒に本を読む

◎図書館(市立)に関すること

- ・図書館の読み聞かせ(おはなし会)をもっとPRする(2)
- ・年齢に合ったおすすめの本の紹介、一覧の配布(3)
- ・おすすめの本(年齢にあった)の紹介、一覧表の配布(4)
- ・汚破損の心配、入りにくいイメージで図書館に行きづらいため、入りやすい図書館にしてほしい(2)
- ・子どもの興味をひくような本の配置をする

◎行政に関すること

- ・進級や入学、卒園などの節目の時だけでも、各家庭に無料配布などしてもらいたい

◎その他

- ・無理に薦めなくてもよい(3)
- ・ブックトークや読書クイズなどのイベント(2)
- ・字に対する苦手意識を持たせないようにする
- ・いろいろな種類の本をみせてあげる
- ・大人がスマートフォンしか見ないので子どもが本を読まないのではないかとスマートフォンやタブレット端末でも本が読めるのでそれで本を読めばよい

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 小1保護者

令和2年11月実施

対象

市内小学校 1学年保護者

【八田・源・飯野・白根東・百田・芦安・若草・若草南・
小笠原・櫛形北・櫛形西・豊・落合・大明・南湖】

調査保護者数

360人

回答者数

332人（うち父17人／うち母286人／その他1人／無回答28人）

回答率

92%

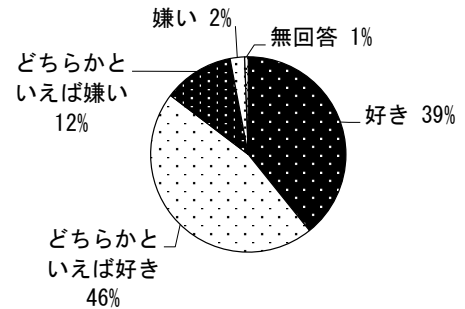
問1 あなたのお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
131	39%
154	46%
39	12%
8	2%
2	1%
334	100%

85%の保護者が「好き」「どちらかといえば好き」と答えており前回より5%減少している。一方「どちらかといえば嫌い」「嫌い」が14%で6%増加した。しかし、前回と同様ほとんどの保護者が自分の子どもは本が好きと回答していることから、家庭内で日常的に子どもが本と好ましい関係を築いていることがうかがえる。

同調査の小学校では、87%が「好き」「どちらかといえば好き」、13%が「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と回答しており、保護者の認識よりは若干本を好きな子どもが多い結果となっている。嫌い決めつけずに子どもと一緒に読書に親しんでもらいたいと考える。



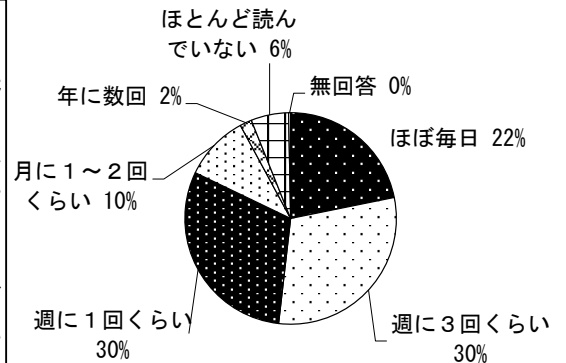
問2 あなたのお子さんは、教科書、雑誌、マンガ以外の本をどのくらい読んでいますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んでいない
- 無回答
- 合計

数値	割合
72	22%
99	30%
100	30%
33	10%
6	2%
19	6%
1	0%
330	100%

週に1回以上本を読んでいる家庭が82%であり、前回より6%減少している。また「ほとんど読んでいない」と答える保護者は前回と同じく6%だった。

数値が下がった原因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための学校の臨時休校や図書館の臨時休館により手元に本が用意できない状況になってしまったことや、休校中の自宅でゲームやインターネットをして過ごす時間が、習慣として増えてしまったことも考えられる。家庭内で本を読む環境づくりを推進するためにも学校図書館と連携し子どもの手元にいつも本がある状況を作っていきたいと考える。

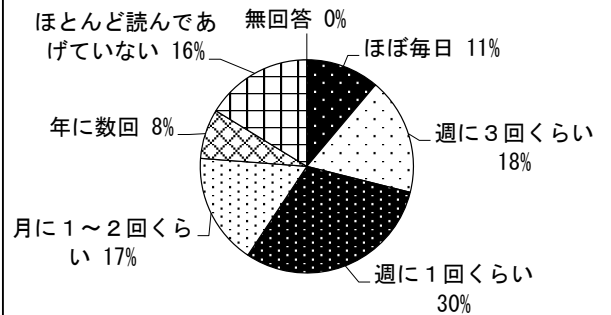


問3 ご家庭では、お子さんに本をどのくらい読んであげていますか。(いましたか。) あてはまる記号に○をつけてください。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んであげていない
- 無回答
- 合計

数値	割合
37	11%
59	18%
101	30%
56	17%
25	8%
54	16%
0	0%
332	100%

読み聞かせをしている家庭が84%で、前回より4%減少している。しかし、全体的に見ると読み聞かせをしている保護者が多く、その大切さを理解していることがうかがえる。一方で、「ほとんど読んであげていない」家庭が16%と前回より4%も増加しているのは残念なことである。しかし、問10では95%の保護者が「本を読むことが大切だと思う」と回答している。子どもが本好きになるきっかけともなり、子どもの今後の読書習慣に多大な影響がある読み聞かせの大切さを、さらに伝えていく必要があると考える。

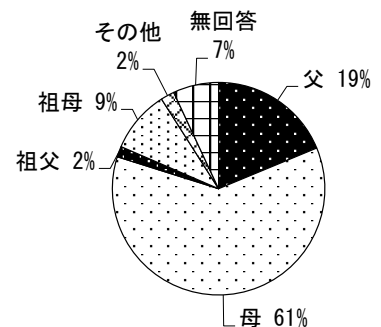


問4 それは、主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか。(いましたか。) あてはまる記号にすべて○をつけてください。

- ア 父
- イ 母
- ウ 祖父
- エ 祖母
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
・兄、姉(11)

数値	割合
81	19%
264	61%
7	2%
41	9%
9	2%
30	7%
432	100%

子どもにとって一番身近な大人である両親が読み聞かせをしている家庭が80%あり、前回より3%増加した。祖父母や兄弟が読み聞かせをしている家庭もあり、家族みんなで読み聞かせに関わっている様子がわかる。「母」が61%に対し、「父」は19%であり、父親の割合が前回より2%増加しているのは喜ばしい。父親にも積極的に読み聞かせをとおして子どもと接する機会をつくってほしいと考える。子どもの成長や興味関心に応じた本とのであいが工夫されることが、自主的に読書活動に親しむことにつながるのではないか。子どもの心を育てる読み聞かせを積極的に行って欲しいと考える。



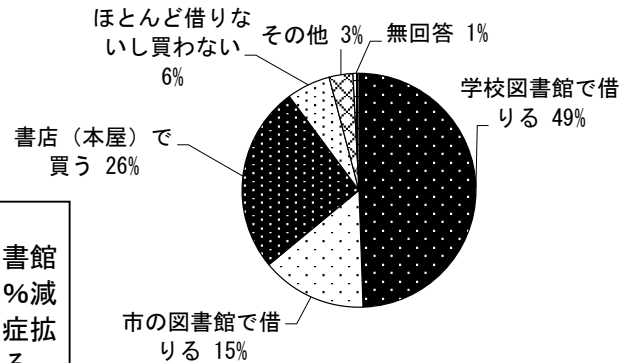
問5 あなたは、お子さんの本をどのようにして用意しますか。
一番多い方法に○をつけてください。

- ア 学校図書館で借りる
- イ 市の図書館で借りる
- ウ 書店（本屋）で買う
- エ ほとんど借りないし買わない
- オ その他
- 無回答
- 合計

その他の主な意見

- ・ 頂いた本 (4)
- ・ 実家または家にある本 (2)
- ・ 市外の図書館で借りる
- ・ 昔自分が読んだ本
- ・ 病院の待合室にある本
- ・ 祖父母からのプレゼント

数値	割合
180	49%
53	15%
94	26%
22	6%
12	3%
3	1%
364	100%

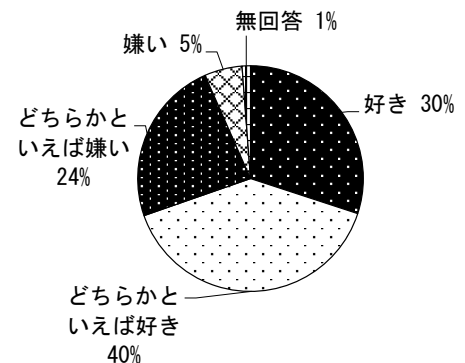


「学校図書館で借りる」「市の図書館で借りる」など図書館を利用していると答えた保護者が64%で、前回より8%減少している。今回の調査では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための休校、休館も影響があると考えられる。「書店で買う」が7%増加しており、店舗だけでなくネット通販などで本を買う家庭も増えていると考えられる。「ほとんど借りないし買わない」という家庭が前回より4%増加している。学校図書館の役割の重要性を感じるとともに、セカンドブック事業により家庭内に本を1冊届けられたことがとても意義のあることと考えられる。

問6 あなた自身は、読書が好きですか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
100	30%
132	40%
79	24%
18	5%
4	1%
333	100%



70%の保護者が「好き」「どちらかといえば好き」と回答しており前回より4%減少している。逆に「嫌い」「どちらかといえば嫌い」が29%と4%増加している。問1と類似した残念な結果となった。問10の結果の通り、95%の保護者は読書の大切さを理解している。子どもをきっかけにして保護者の意識も変わっていったらえるよう親子で読書を楽しむ「家読」等をすすめていくことも良いと考える。

問7 問6でウ「どちらかといえば嫌い」、エ「嫌い」を選んだ人にお伺いします。その理由は何ですか。

- ア つまらない
- イ 他に楽しいことがあるから
- ウ 文章を読むのが苦手
- エ その他

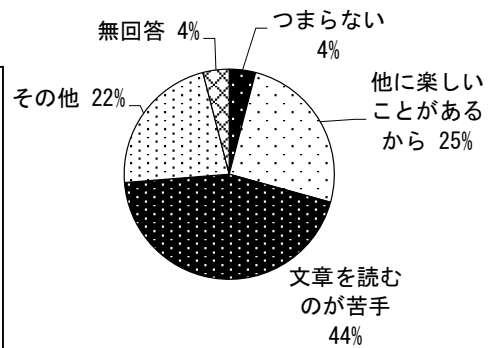
無回答
合計

その他の主な意見

- ・読んでいる時間がない(11)
- ・眠くなってしまう(2)
- ・習慣がない
- ・物語よりも時事派のため、テレビのニュース
スマホで記事を見るほうが好き

数値	割合
4	4%
25	25%
44	44%
22	22%
4	4%
99	100%

「つまらない」が前回より7%減少しているほかは、前回とほぼ同じ結果となっている。「文章を読むのが苦手」が44%と一番多く、苦手意識が読書を嫌いな原因となっている。生活スタイルが多様化する中で、多くの選択肢の中から読書を選んでもらえるように、苦手意識がとれるような手立てを検討していくことが必要と考える。子どもと一緒に本にふれ、読書に少しでも親しんでもらえるように学校図書館と連携した取り組みが必要ではないかと考える。



問8 あなたは、ご自分が読む本をどのようにして用意しますか。一番多い方法に○をつけてください。

- ア 市の図書館で借りる
- イ 書店（本屋）で買う
- ウ ほとんど借りないし買わない
- エ パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む
- オ その他

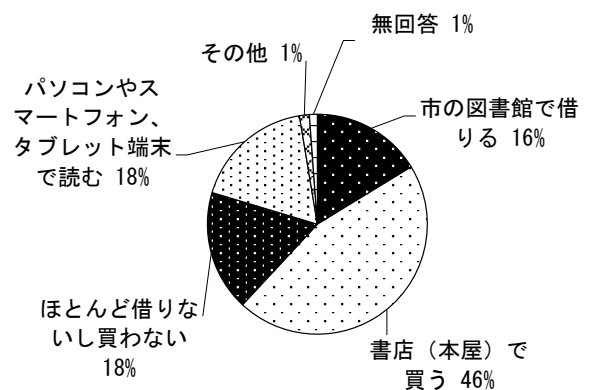
無回答
合計

その他の主な意見

- ・インターネットで中古本を買う(2)
- ・もらった本
- ・市外の図書館で借りる

数値	割合
56	16%
157	46%
61	18%
61	18%
5	1%
4	1%
344	100%

「市の図書館で借りる」が16%で前回より6%減少、「書店で買う」が46%と前回より2%減少している。逆に「スマートフォン等の端末で読む」が前回より8%増えていることは、利便性からさらにその活用が増加することが予想される。今後、子ども用の図書も、電子書籍で用意する家庭が増えることも考えられる。「ほとんど借りないし買わない」保護者が前回より2%増加している。本を手にとれる環境をどのように提供していくかが課題である。まずは図書館へ足を向けてもらえらるるよう、学校図書館と連携した取り組みが必要ではないかと考える。

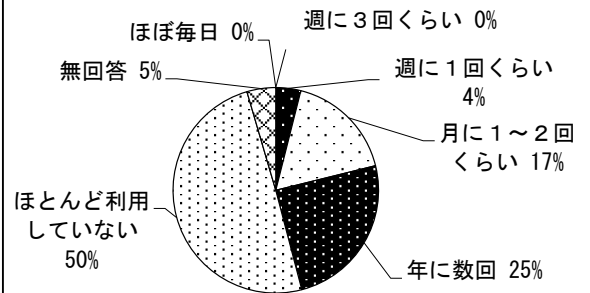


問9 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど利用していない
- 無回答
- 合計

数値	割合
0	0%
0	0%
13	4%
57	17%
82	25%
164	50%
15	5%
331	100%

市の図書館を利用している保護者が46%と前回より5%減少、「ほとんど利用しない」が50%と前回より6%増加という厳しい結果となった。この数値には新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための臨時休館やイベント等の中止も影響があったと考えられる。今後、親子で図書館を利用してもらえるような図書館サービスをさらに充実させていく必要があると考える。また、子どもとともに保護者の読書活動も推進できるようにインターネット社会の利便性を活かしたサービスにも取り組んでいくことが望まれる。

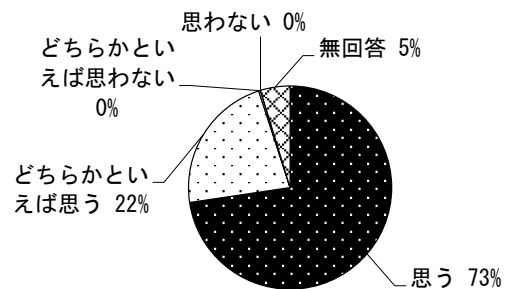


問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

- ア 思う
- イ どちらかといえば思う
- ウ どちらかといえば思わない
- エ 思わない
- 無回答
- 合計

数値	割合
247	73%
76	22%
1	0%
0	0%
16	5%
340	100%

「思う」「どちらかといえば思う」を合わせると95%となり前回より1%増加している。「思わない」が0%となっていることから読書の大切さは、ほとんどの保護者が感じている。子どもが本の楽しさを知り、生涯に渡る読書習慣を身につけるためには、家庭を中心とした地域全体の取り組みが必要となってくる。この保護者の意識をどのように子どもたちの読書へつなげていくのかが大きな課題であると考えられる。



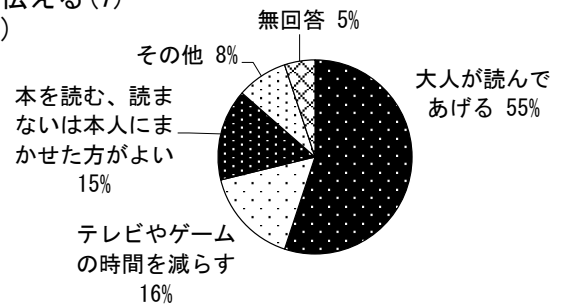
問11 あなたのお子さんが、どうすれば本を読むようになると思いますか。

- ア 大人が読んであげる
- イ テレビやゲームの時間を減らす
- ウ 本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい
- エ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
195	55%
57	16%
54	15%
30	8%
18	5%
354	100%

その他の主な意見

- ・書店や図書館に一緒に行き興味がある本から楽しく読む(7)
- ・子どもと一緒に本を読み、親の姿を見せて楽しさを伝える(7)
- ・大人も子どもも本を読む時間をつくり習慣にする(3)
- ・本を読んでほしいがどうしてもいかわからない(2)
- ・自ら読んでいる(2)
- ・すすんで読書をするような環境をつくる(2)
- ・本人が読書を楽しいと気付ける本に出会う
- ・一緒に本を選ぶ
- ・音読をじっくり聞いてあげる
- ・リビングに本を置くなど色々試しているがわからない



55%の保護者が「大人が読んであげる」と回答している。問12でも、読み聞かせをすると答えた保護者が多く、その有用性が理解されている様子うかがえる。「テレビやゲームの時間を減らす」が16%と前回より4%増加「本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい」が15%と前回より4%増加している。スマートフォン等の普及により読書以外の選択肢が増えているなかではあるが、問12で「子どもと一緒に読書の時間をつくる」と回答した保護者が多かったことから、親子で一緒に読書に親しんでもらうことが大切ではないかと考える。小学校1年生に1人1冊本を贈るセカンドブック事業が、親子で読書を楽しんでもらうきっかけとなっていることがうかがえる。小学生の時期は、自分の興味や関心に応じた多くの本を読んで読書の幅を広げることが、今後の読書習慣の形成につながっていくと考える。今後も親子で一緒に生涯に渡る読書習慣を形成していってもらうことが望まれる。

問12 子どもの読書活動をすすめるために、あなたはどんなことをしたらよいとおもいますか。

主な意見

◎家庭に関すること

- ・子どもと一緒に読書の時間をつくる(53)
- ・本を読む時間ふれる時間をつくる、ふやす(35)
- ・大人が読書している姿を見せる(28)
- ・本が身近にある環境をつくる(20)
- ・家族で読んで、面白かったことなど感想を話す(12)
- ・気に入ったシリーズ、著者の本、興味のある本を読んでいく(7)
- ・子どもの興味に合わせた本を読んであげる、薦めてあげる(6)
- ・面白かった本(親が子どものころ面白かった本を含め)を紹介する(5)
- ・テレビなどを止めて静かな環境(本に集中できる時間や空間)をつくる(4)
- ・自分が好きな分野がわかるように色々なジャンルの本を見るようにする(4)
- ・子どもが読むのをじっくり聞いてあげる(2)

◎学校に関すること

- ・朝読書をする時間をつくる(6)
- ・みんなで本を読む時間を増やす(4)
- ・学校図書館を充実させる(4)
- ・友達や先生とおすすめの本を紹介しあう(4)

◎図書館(学校、市立)に関すること

- ・ブックスタート、セカンドブック事業はとてもよい(2)
- ・ジャンル別おすすめの本を紹介する

◎その他

- ・子どもが自ら読みたいと思わないと意味がないので、無理に薦めない(3)
- ・新型コロナウイルスの影響で図書館に行きづらくなってしまった(2)
- ・自ら本を読んでるので本人に任せている

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 小4 保護者

令和2年11月実施

対象 市内小学校 4学年保護者
 【八田・源・飯野・白根東・百田・芦安・若草・若草南・
 小笠原・櫛形北・櫛形西・豊・落合・大明・南湖】

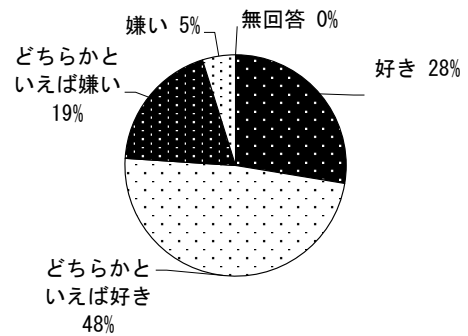
調査保護者数 450人
 回答者数 413人 (うち父33人/うち母343人/その他5人/無回答32人)
 回答率 92%

問1 あなたのお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
114	28%
200	48%
79	19%
20	5%
0	0%
413	100%

76%の保護者が「好き」「どちらかといえば好き」と回答している。前回の回答が84%であるので、8%減少している。一方、「どちらかといえば嫌い」「嫌い」という保護者の割合は24%であり、こちらは前回より8%増加している。今後においても、学校での読書指導に加え、家庭での読書の習慣づけなど読書環境を整えることが重要であると考えられる。

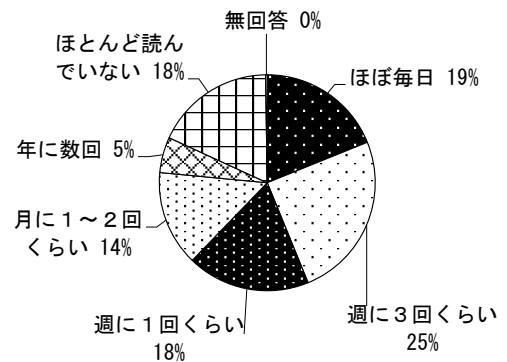


問2 あなたのお子さんは、教科書、雑誌、マンガ以外の本をどのくらい読んでいますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1~2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んでいない
- 無回答
- 合計

数値	割合
78	19%
103	25%
76	18%
59	14%
22	5%
74	18%
1	0%
413	100%

「ほぼ毎日」「週に3回」「週に1回」の回答が62%となっているが、前回は78%であるので大幅に減少していることがわかる。また、「ほとんど読んでいない」の回答は、前回は7%、今回は18%と増加している。中学年は絵本から物語への移行時期であり、文字が増えることを苦手として嫌いになってしまうことが読書離れの一つの原因であると考えられる。また、スマートフォン等の普及により、家庭での読書環境も変わってきていることが考えられ、意識的に読書の時間を設けたり、家族一緒に本を読んだりすることが必要であると思われる。

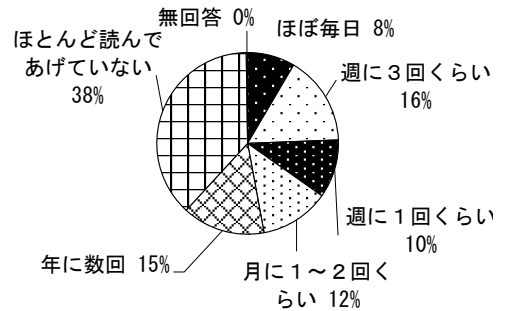


問3 ご家庭では、お子さんに本をどのくらい読んであげていますか。(いましたか。)
あてはまる記号に○をつけてください。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1~2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んであげていない
- 無回答
- 合計

数値	割合
35	8%
66	16%
43	10%
51	12%
61	15%
157	38%
1	0%
414	100%

前回と比べると「ほぼ毎日」「週に3回」「週に1回」の割合が39%から34%に減少している。また「年に数回」「ほとんど読んであげていない」の割合が47%から53%に増加している。これは家庭でも保護者が忙しい環境にあるという、現代の背景も影響していると思われる。4年生は一人で読めるようにはなってきたが、親子のコミュニケーションの一つとして本を読む時間を意識的に作って欲しい。

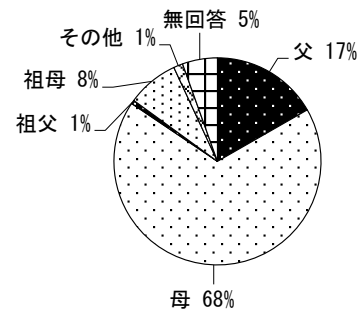


問4 それは、主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか。(いましたか。)
あてはまる記号にすべて○をつけてください。

- ア 父
- イ 母
- ウ 祖父
- エ 祖母
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
・叔母

数値	割合
58	17%
235	68%
2	1%
28	8%
5	1%
19	5%
347	100%

「母」の割合は、前回の64%から68%と増加している。「父」の割合も13%から17%へと増加しており、家族みんなが子どもの読書に関わっていることがわかる。それぞれの家庭に合った方法で、継続して読書を楽しんで欲しい。

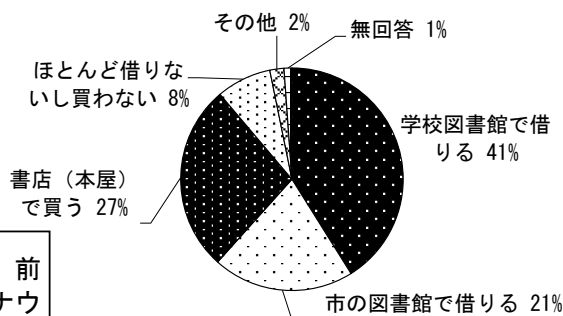


問5 あなたは、お子さんの本をどのようにして用意しますか。
一番多い方法に○をつけてください。

- ア 学校図書館で借りる
- イ 市の図書館で借りる
- ウ 書店（本屋）で買う
- エ ほとんど借りないし買わない
- オ その他
- 無回答
- 合計

- その他の主な意見
- ・ 知人から譲り受けたり、幼稚園でもらう(2)
 - ・ 電子書籍(2)
 - ・ 配本

数値	割合
180	41%
90	21%
119	27%
35	8%
9	2%
5	1%
438	100%

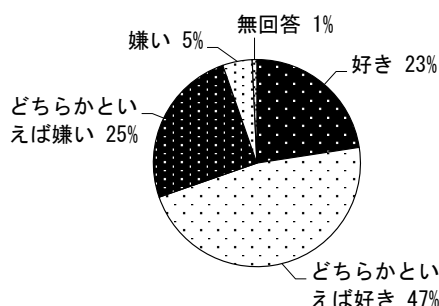


「学校図書館で借りる」「市の図書館で借りる」の割合は、前回より9%減少している。今回減少したことは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための学校の臨時休校や市立図書館の臨時休館も一因と思われる。小学校は図書の時間が確保されており、学校図書館の利用が日常化されていることから、休校が影響していると考えられる。また、「ほとんど借りないし買わない」の割合が4%から8%に増加しており、図書館利用の呼びかけや家庭を巻き込んだ読書環境づくりが必要と思われる。

問6 あなた自身は、読書が好きですか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
93	23%
194	47%
103	25%
19	5%
3	1%
412	100%

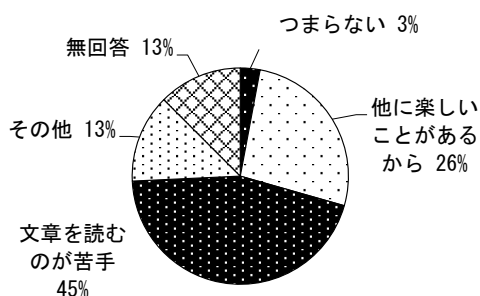


「好き」「どちらかといえば好き」が前々回が75%、前回は72%、今回が70%と減少してきている。また「どちらかといえば嫌い」「嫌い」では同様に24%、28%、30%と増加してきている。7割の保護者が読書が好きと回答しているが、その割合は年々減少し、嫌いが増加しつつある。家庭で読書をしている保護者の姿が子どもの読書に影響を与えていると思われるので、保護者も意識をして読書をする時間を作って欲しい。市立図書館も話題の本など情報発信をしながら、読書のきっかけづくりをより推進していく必要があると思われる。

問7 問6でウ「どちらかといえば嫌い」、エ「嫌い」を選んだ人にお伺いします。その理由は何ですか。

- ア つまらない
- イ 他に楽しいことがあるから
- ウ 文章を読むのが苦手
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・忙しくて時間がない(6)
 - ・興味がない、読もうと思わない(4)
 - ・目がしょぼしょぼする(2)
 - ・楽しいと思わない
 - ・小さいころから

数値	割合
4	3%
36	26%
61	45%
18	13%
17	13%
136	100%

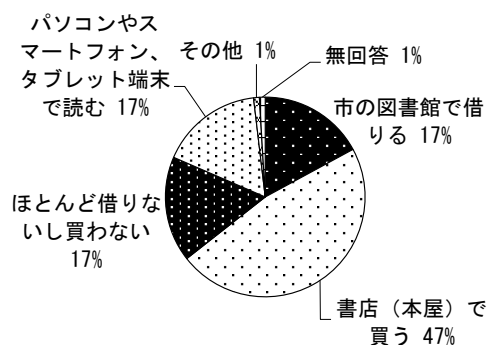


「文章を読むのが苦手」は前回の53%から45%に減少しているが、「他に楽しいことがあるから」が前回の18%から26%に増加している。娯楽が多様化するなかで、多くの選択肢の中から読書を選んでもらえるように工夫することが必要だと考える。読書のきっかけづくりは話題の本や子どもが読んでいる本と一緒に読むことから始められる。子どもの読書離れを防ぐためにも、まずは保護者自身が本の楽しさを体験できるように本に目を向けてもらえるよう、保護者への啓発活動も重要であると思われる。

問8 あなたは、ご自分が読む本をどのようにして用意しますか。一番多い方法に○をつけてください。

- ア 市の図書館で借りる
- イ 書店（本屋）で買う
- ウ ほとんど借りないし買わない
- エ パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・子どもの通う学校の図書館

数値	割合
73	17%
202	47%
73	17%
71	17%
4	1%
4	1%
427	100%



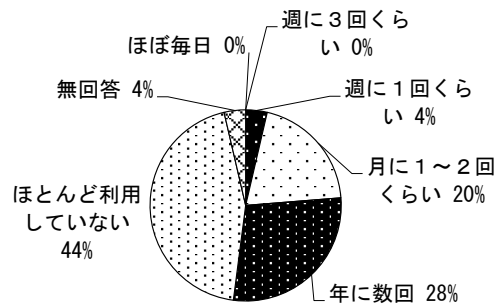
「パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む」は前回の8%から17%に大幅に増加しており、電子書籍を多く利用していることがわかる。また「市立図書館で借りる」は前回の23%から17%に減少し、「購入する」も前回の49%から47%に減少している。これはスマートフォン等が普及し、誰でも手軽に電子機器が使えるようになったことや、本を手に入れる手段が多様化していることが理由と考えられる。「ほとんど借りないし買わない」と答えた17%の保護者には、図書館では生活に役立つさまざまな資料や情報を得られることを知ってもらうようなPRをし、図書館を身近な公共施設として利用してもらえるような方法を考えていく必要がある。

問9 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど利用していない
- 無回答
- 合計

数値	割合
0	0%
0	0%
15	4%
83	20%
117	28%
183	44%
15	4%
413	100%

前回に比べ「ほとんど利用していない」が41%から44%に増加している。これは、インターネットで検索して簡単に情報が得られるようになったことや本を入手する手段が多様化していることが影響していると考えられる。生涯に渡って図書館利用をしてもらうために、図書館は本を借りるだけでなく様々な利用の仕方があることを知らせ、気軽に利用できる公共施設としてのPRをしていく必要があると思われる。

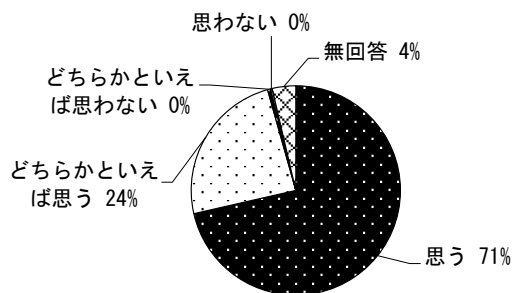


問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

- ア 思う
- イ どちらかといえば思う
- ウ どちらかといえば思わない
- エ 思わない
- 無回答
- 合計

数値	割合
295	71%
100	24%
2	0%
1	0%
15	4%
413	100%

「思う」「どちらかといえば思う」の割合が95%と多くの保護者が本を読むことが大切であることを認識している。自身が本を読むのが「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と回答した方も読書を大切と思っていることがわかる。これをいかに家庭での子どもの読書に結び付けていくかが重要である。保護者自身が子どもと一緒に本を読む楽しさを共有することが、子どもが本に親しむための大きな影響力を持つということを伝えていくことが必要であると考えられる。



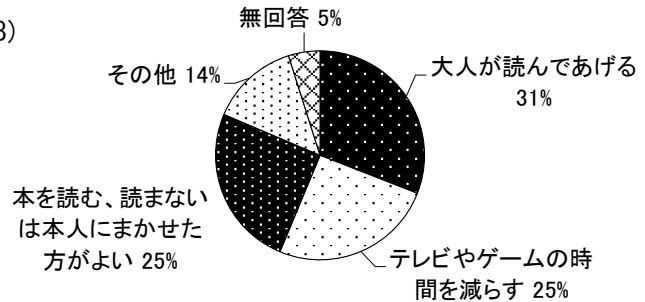
問11 あなたのお子さんが、どうすれば本を読むようになると思いますか。

- ア 大人が読んであげる
- イ テレビやゲームの時間を減らす
- ウ 本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい
- エ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
133	31%
109	25%
108	25%
59	14%
21	5%
430	100%

その他の主な意見

- ・興味があることに関連する本を薦める(8)
- ・一緒に書店や図書館に行く(4)
- ・本とふれあう時間をつくってあげる(3)
- ・親子で一緒に読む(3)
- ・読んだ本の感想を語り合う(2)
- ・読書の大切さを伝え続ける(2)
- ・宿題で出す
- ・本が大好きすぎて困っている



「大人が読んであげる」の割合が前回の36%より31%に減少している。一方、「テレビやゲームの時間を減らす」が24%から25%に増加し、「本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい」も23%から25%に増加している。4年生になると、一人読みが出来るようになり大人が読まなくても本人にまかせてよいと考える保護者が多くなってきていることがわかる。また「テレビやゲームの時間を減らす」が増えていることから、生活の中でテレビやゲームに時間を費やしていることがわかる。読書習慣がついている子どもには、引き続き読書に親しむ時間を家族で共有して欲しいが、別の趣味に時間を費やす子どもには、家庭や学校を巻き込んでの取り組みなど本が身近にある環境づくりの工夫や親子一緒にの時間を持つことが必要であるとする。

問12 子どもの読書活動をすすめるために、あなたはどんなことをしたらよいとおもいますか。

主な意見

◎家庭に関すること

- ・一緒に書店や図書館に行く(42)
- ・子どもと一緒に本を読む(42)
- ・本を読む時間をつくる、増やす(33)
- ・親が本を読む姿を見せる(27)
- ・読み聞かせをする(24)
- ・本が身近にある環境をつくる(18)
- ・感想を聞いてあげる、語り合う(16)
- ・テレビやゲームの時間を減らす(14)
- ・ためになる本や面白そうな本を薦めてみる(10)
- ・年齢や性別にあった本を紹介する(6)
- ・小さいころから読み聞かせをしたり、おはなし会などに参加する(3)

◎学校に関すること

- ・読書、音読、読み聞かせの時間を増やす(10)
- ・朝読書をする時間をつくる(4)
- ・面白くて興味を示しやすい本を学校で紹介してもらう(3)
- ・親子読書を定期的にする(3)
- ・先生が選んだおすすめの本を読んであげる(2)

◎図書館(学校、市立)に関すること

- ・イベント、おはなし会の充実(3)
- ・もっといろいろな場所に図書館があればいい(3)
- ・図書館が楽しい場所になるような環境整備(2)

◎その他

- ・本の楽しさ、面白さなど魅力を伝える(12)
- ・好きな本や興味のある本を薦める(8)
- ・知りたいこと、調べたいことに本を利用する(5)
- ・自ら読みたいと思わないと意味がないので、無理に薦めない(3)

子どもの読書活動に関するアンケート調査集計 中2保護者

令和2年11月実施

対象 市内中学校 第2学年保護者

【八田・巨摩・御勅使・芦安・若草・櫛形・甲西・子どもの村】

調査保護者数 194人

回答者数 160人 (うち父13人/うち母138人/その他1人/無回答8人)

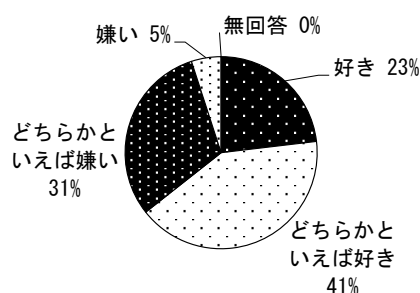
回答率 82%

問1 あなたのお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
37	23%
66	41%
49	31%
8	5%
0	0%
160	100%

64%の保護者が「好き」「どちらかといえば好き」と回答し、前回から3%減少となった。一方で「どちらかといえば嫌い」「嫌い」は36%で前回から4%増加となった。中学生になると学習や部活動などに割く時間が増え、家で本を読む姿を見ることが少なく、また保護者自身も忙しく、子どもと読書についてコミュニケーションをとるのが難しいことがうかがえる。学年が上がるにつれて本とふれあう時間を確保することは難しいが、豊かな心を育むためにも、読書への興味、関心を高める環境作りが必要であると考えられる。

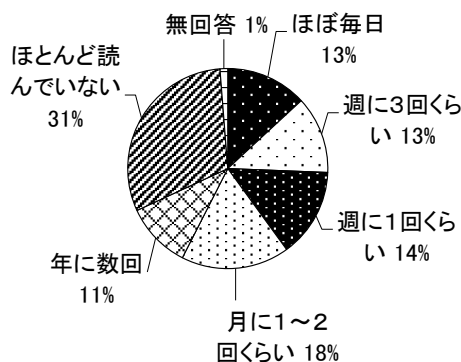


問2 あなたのお子さんは、教科書、雑誌、マンガ以外の本をどのくらい読んでいますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1~2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んでいない
- 無回答
- 合計

数値	割合
21	13%
20	13%
23	14%
28	18%
17	11%
49	31%
2	1%
160	100%

前回に比べ、「ほぼ毎日」「週に3回くらい」「週に1回くらい」の合計は5%減少している。一方で「ほとんど読んでいない」は前回に比べ10%増加し、中学生の読書離れが進んでいることがうかがえる。スマートフォンや携帯ゲーム機の普及で身近な娯楽が多い中ではあるが、本を読む時間を取り、知識を得ることのできる環境を家庭でも作っていくことが必要だと思われる。

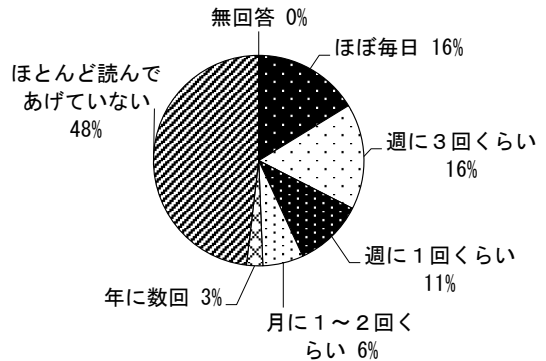


問3 ご家庭では、お子さんに本をどのくらい読んであげていますか。(いましたか。)
あてはまる記号に○をつけてください。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど読んであげていない
- 無回答
- 合計

数値	割合
26	16%
26	16%
17	11%
10	6%
4	3%
77	48%
0	0%
160	100%

「ほぼ毎日」「週に3回くらい」「週に1回くらい」と回答した保護者が43%おり、前回に比べ6%増加している。保護者の読書に対する関心の高さがうかがえる。また「年に数回」「ほとんど読んであげていない」の割合は前回と同等数ある。小さい頃は読んであげていたが、年齢が上がるにつれて親も忙しくなり、意識的に本を読む時間がとれなくなっていくと思われるが、本を読むことをコミュニケーションの一つとして親子で楽しむ時間を作ってほしいと考える。

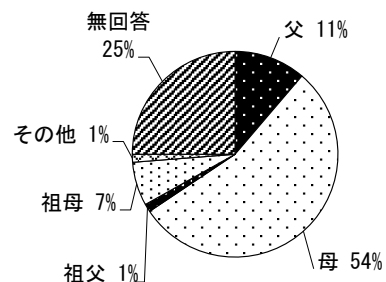


問4 それは、主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか。(いましたか。)
あてはまる記号にすべて○をつけてください。

- ア 父
- イ 母
- ウ 祖父
- エ 祖母
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・自分で進んで読んでいる(3)
 - ・兄、姉(3)

数値	割合
18	11%
87	54%
2	1%
11	7%
2	1%
40	25%
160	100%

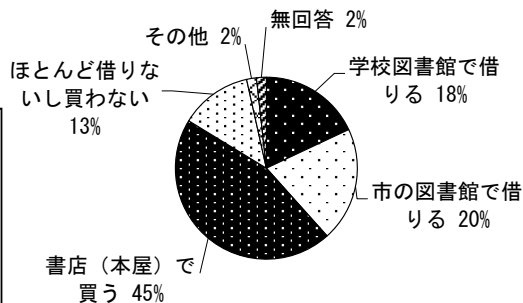
「父」と答えた家庭が前回と同等数ある。父親の参加がまだまだ少ない現状がうかがえる。父母の声をとおして読書の楽しさを伝えることが、子どもが本に興味を持つきっかけとなり得るので、父親にも積極的に読み聞かせに参加してほしい。一方で、「祖父」「祖母」と答えた家庭もあり、家族全体で読書にふれあえている様子もうかがえる。



問5 あなたは、お子さんの本をどのようにして用意しますか。
一番多い方法に○をつけてください。

- ア 学校図書館で借りる
- イ 市の図書館で借りる
- ウ 書店（本屋）で買う
- エ ほとんど借りないし買わない
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・プレゼントや読まなくなった本をもらう(3)
 - ・他の市の図書館で借りる

数値	割合
31	18%
35	20%
78	45%
22	13%
3	2%
3	2%
172	100%

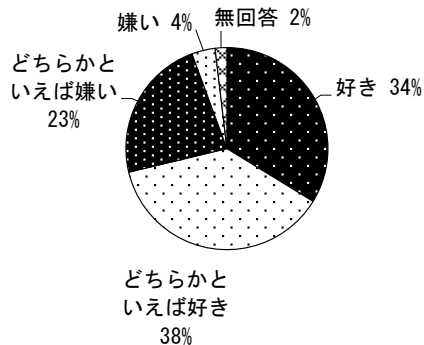


「学校図書館で借りる」「市の図書館で借りる」が前回に比べ6%減少している。今回の調査では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための休校や休館も影響していると考えられる。それに対し「書店で買う」は前回と同等数ある。中学生になり、自分で興味を持った本を購入するという生徒が多いことがわかる。学校や市の図書館には幅広い分野の蔵書があり、手に取ってみることで興味をひくこともあるため、図書館を利用してもらえるようPRをしていくことが必要だと思われる。

問6 あなた自身は、読書が好きですか。

- ア 好き
- イ どちらかといえば好き
- ウ どちらかといえば嫌い
- エ 嫌い
- 無回答
- 合計

数値	割合
54	34%
60	38%
37	23%
6	4%
3	2%
160	100%

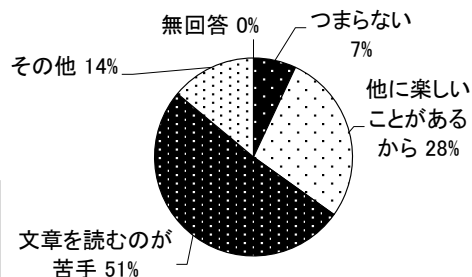


前回と比べ「好き」「どちらかといえば好き」が5%増加し72%となった。問3の子どもに本を読んであげた頻度が高いことにも関連し、読書に関心のある保護者が多いことは大変喜ばしい。また「どちらかといえば嫌い」「嫌い」が5%減少し、保護者の読書に対する意識の高さがうかがえる。子どもにとって一番身近である親が読書をする姿を見せることが、子どもに強く影響を与えるので、この状態を維持していく必要があると考える。

問7 問6でウ「どちらかといえば嫌い」、エ「嫌い」を選んだ人にお伺いします。その理由は何ですか。

- ア つまらない
- イ 他に楽しいことがあるから
- ウ 文章を読むのが苦手
- エ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・忙しくて本を読む時間がない(7)
 - ・眠くなってしまう
 - ・本を読む習慣がなく、面倒
 - ・目が疲れる

数値	割合
3	7%
12	28%
22	51%
6	14%
0	0%
43	100%

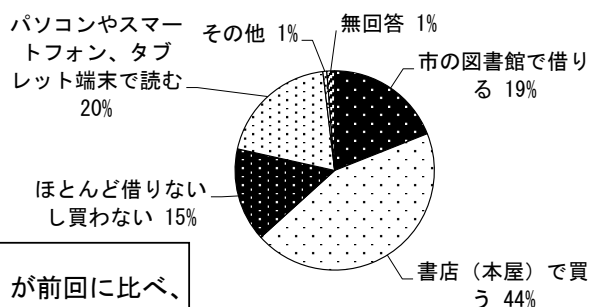


「文章を読むのが苦手」が前回より5%増加している。苦手意識から読書に割く時間もとれないことがうかがえる。まず読書をするきっかけとして、文章が分かりやすい本を読み、楽しさを味わってほしい。また小説ではなく、気軽に手に取りやすい本から始めてみるのも読書のきっかけとなる。保護者自身が本にふれ読書の楽しさを子どもに伝えていける環境づくりが大切だと思われる。

問8 あなたは、ご自分が読む本をどのようにして用意しますか。一番多い方法に○をつけてください。

- ア 市の図書館で借りる
- イ 書店（本屋）で買う
- ウ ほとんど借りないし買わない
- エ パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む
- オ その他
- 無回答
- 合計
- その他の主な意見
 - ・家にある本
 - ・古本屋で購入する
 - ・インターネットで購入する
 - ・アとイが同じくらい

数値	割合
30	19%
70	44%
24	15%
31	20%
1	1%
2	1%
158	100%



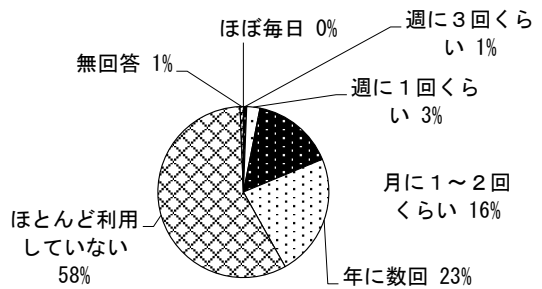
「パソコンやスマートフォン、タブレット端末で読む」が前回に比べ、2%から20%へと大きく増加しており、電子書籍を多く利用していることがわかる。また「市の図書館で借りる」は前回の27%から19%に減少している。電子機器の普及により、電子書籍が手に取りやすい現状がうかがえる。市の図書館では多くの分野の書籍が手に取れ、情報収集に有益な資料を得ることができることを知ってもらうためにも、図書館のPRを工夫し、利用の推進を図ることが重要だと考える。

問9 あなたは、市の図書館をどのくらい利用しますか。

- ア ほぼ毎日
- イ 週に3回くらい
- ウ 週に1回くらい
- エ 月に1～2回くらい
- オ 年に数回
- カ ほとんど利用していない
- 無回答
- 合計

数値	割合
0	0%
1	1%
4	3%
25	16%
37	23%
92	58%
1	1%
160	100%

前回に比べ「ほとんど利用していない」が13%増加し、半数以上の方が図書館を利用していない。これには新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための臨時休館やイベント等の中止も影響があったと考えられる。またスマートフォンや電子機器の普及により、情報収集の方法が多様化し、図書館に行かなくても情報が得られるという現状もアンケート結果に影響していると考えられる。図書館の魅力を発信し、利用の拡大を図り、維持していくことが重要だと思われる。

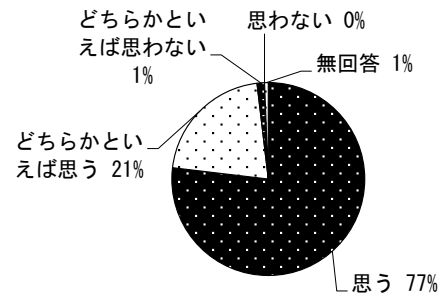


問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

- ア 思う
- イ どちらかといえば思う
- ウ どちらかといえば思わない
- エ 思わない
- 無回答
- 合計

数値	割合
123	77%
34	21%
2	1%
0	0%
1	1%
160	100%

「思う」「どちらかといえば思う」が98%と高く、多くの保護者が本を読むことの大切さを認識している。それをいかにして家庭での子どもの読書に結び付けていくかが重要である。保護者も子どもと一緒に読書を楽しみ、共有する時間を設けることが大切であると考える。



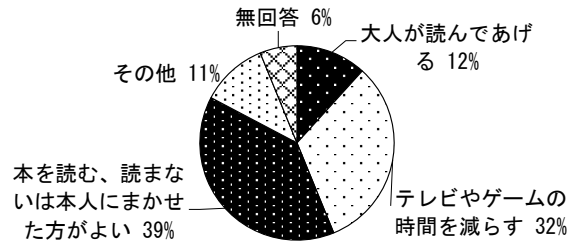
問11 あなたのお子さんが、どうすれば本を読むようになると思いますか。

- ア 大人が読んであげる
- イ テレビやゲームの時間を減らす
- ウ 本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい
- エ その他
- 無回答
- 合計

数値	割合
19	12%
52	32%
63	39%
18	11%
10	6%
162	100%

その他の主な意見

- ・大人が楽しんで本を読んでいる姿を見せる(7)
- ・興味のある本を用意する(5)
- ・面白そうな本と一緒に探す(3)
- ・自分が好きな本と出合う(3)
- ・読んだ本について話題にする(2)
- ・子どもだけで行ける距離に図書館がある
といい



「本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい」が前回に比べ9%増加している。中学生になると、多くの子どもが親の手を離れ、自分の判断で読書の有無を決めるようになる。小学校中学年あたりから、一人読みの時間が増え、手を離れていくようになるのであれば、その年代より前に読書の楽しさを伝え、保護者も一緒に本にふれあう環境を作ることがとても大切なのではないか。また「テレビやゲームの時間を減らす」が32%おり、中学生では多くの生徒が携帯を持ち、一日の生活の中で携帯やゲームに費やす時間が多いこともうかがえる。読書習慣をつけるためにも、家族、学校全体で読書の必要性を考え、本が身近にある環境を今一度整えていくことが望ましい。

問12 子どもの読書活動をすすめるために、あなたはどんなことをしたらよいとおもいますか。

主な意見

◎家庭に関すること

- ・小さいころに読み聞かせをする(22)
- ・親が読んでよかった本をすすめる(18)
- ・本を読む時間、ふれる時間をつくる、増やす(16)
- ・家族みんなで読書をする(12)
- ・スマホを置き、テレビを消す時間をつくる(10)
- ・本が身近にある環境をつくる(9)
- ・読んだ本について話題にする(9)
- ・親が本を読む姿を見せる(8)
- ・一緒に図書館や書店に行く(7)
- ・興味を持ちそうな本を紹介する(8)
- ・興味を持った本をなるべく早く用意してあげる(5)
- ・学校や図書館で紹介している本を参考にする

◎学校に関すること

- ・朝読書をする時間をつくる(3)
- ・読書をするという宿題を出す(2)
- ・教育の一環として読書を義務づける(2)
- ・子ども同士で本を薦めあう
- ・親がボランティアとして学校で読み聞かせをし、興味を持ってもらう

◎図書館(学校、市立)に関すること

- ・図書館を積極的に利用する(4)
- ・市から子どもに毎年本をプレゼントする(2)
- ・大きい子向けイベントを行い、図書館へ行く機会をつくる
- ・配置や紹介などを明確でわかりやすくし、子どもが手に取りたくなる工夫をしてほしい

◎その他

- ・本を読むことの楽しさ、大切さを伝える、知る(10)
- ・自ら読みたいと思わないと意味がないので、無理にすすめない(4)
- ・おすすめの本を知らせる機会をつくる(3)

市内読書施設に関するアンケート調査（小学校）

問1 朝の読書タイムなど全校一斉の読書活動を実施していますか？実施していれば、いつ・時間はどのくらいですか。

	ア. はい	いつ・時間	イ. いいえ
八田小	○	毎週 月曜日と火曜日 8:20~8:35 (15分間)	
白根源小	○	毎週月曜日・水曜日・集会のない火曜日 8:25~8:40 (15分間)	
白根飯野小	○	毎週月曜日~水曜日 8:20~30 (10分間)	
白根東小	○	毎週月曜日と春・秋の読書週間中15分間	
白根百田小	○	毎週金曜日8:25~8:40 朝の支度が終わった児童は8:25まで読書	
芦安小	○	毎週木曜日 8:15~8:30 (15分間)	
若草小	○	月~金 8:25~8:35 (10分間) 担任の先生の判断で、朝学習にもなる。	
若草南小	○	毎週水曜日・金曜日 8:15~8:30	
小笠原小	○	毎週月・火曜日8:20~8:30(10分間) 毎週水曜日13:25~13:45(20分間)	
楡形北小	○	毎週月・金曜日 8:25~8:40 (15分間)	
楡形西小	○	毎週月・火・金曜日8:25~8:35	
豊小	○	毎週月曜日の朝 10~15分間 読書週間中は毎朝	
落合小	○	月~水曜日の朝 15分間 (8:15~8:30)	
大明小	○	毎週火曜日・木曜日 8:25~8:35	
南湖小	○	水・木曜日 8:20~8:30	
子どもの村小			○

問2 全校一斉の読書活動を実施していない理由は何ですか。

子どもの村小	本校はプロジェクト活動を中心とした学習をすすめています。プロジェクトの体験活動を通して、適宜必要に応じた読書活動を行っています。
--------	--

問3 学校では読み聞かせをしていますか？ 実施していれば、いつ・時間・対象学年・実施者数を教えてください。

八田小	<ul style="list-style-type: none"> ・読書ボランティアの方の読み聞かせ 1学期と2学期 朝 8:20~8:35 1、2年生は各クラスで3年生以上は視聴覚室か音楽室 読書ボランティア1名 <令和2年度は新型コロナ感染予防対策のため中止> ・1、2年生は図書時間に学校司書が担任の先生と相談してから <令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため 状況を見ながら 担任の先生と相談> ・例年は、6月読書週間中に担任以外の先生と縦割り班で5、6年生に読み聞かせをしてもらう
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> ・授業（図書の時間）1、2年生、司書（1名） ・1、2学期の読書週間中の朝の時間 全学年 担任+教務（16名） ・毎学期 1または2校時 全学年 読書ボランティアさん（2名）
白根飯野小	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、ほぼ毎朝、読み聞かせをしている ・毎週、図書の時間に、低学年を中心に読み聞かせをしている
白根東小	<ul style="list-style-type: none"> ・春と秋の読書週間中、教務の職員（10名程度）を中心とした全学年対象の読み聞かせを行っている
白根百田小	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生…週に一度（図書の授業）、読書ボランティアさん（年に一度） ・3年生～6年生…月に一度くらい
芦安小	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回程度全職員が朝活動の時間に全校児童に ・図書の時間にほぼ毎回司書が全学年に
若草小	<ul style="list-style-type: none"> ・朝 8:25~8:35 1~6年生 読書ボランティア2名 ・朝 8:25~8:35 1~2年生 図書委員会20人 ・図書の時間 1~6年生 司書1名
若草南小	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアによる朝の読書タイムでの読み聞かせ（全学年対象） ・図書の時間の担任、司書の読み聞かせ ・読書週間での先生による読み聞かせ ・国語、学活、図工などの時間に、教科書に載っていた本や関連する本の読み聞かせ
小笠原小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の時間10~15分程度 1~4年生 司書や担任 ・読書週間中（年2回）朝の時間10分 1~3年生 担任・教務の教職員（14~20名）→令和2年度新型コロナウイルス感染症予防対策のため1回のみ ・6月梅雨時期 朝の時間10分 1、2年生 図書委員（16~18名）→令和2年度新型コロナウイルス感染症予防対策のため実施なし ・各学年年1回 45分間 1~6年生 ききみみずきん（2名）→令和2年度新型コロナウイルス感染症予防対策のためクラス単位で2学期から行う 全学年の予定 ・年1回読書月間中 朝の時間10分 1年生と6年生・2年生と5年生・3年生と4年生ペアでたてわり読書→令和2年度新型コロナウイルス感染症予防対策のため実施未定
楡形北小	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる朝の読書タイムの読み聞かせ（全学年） ・図書の時間の担任や司書の読み聞かせ ・読書週間中の教職員による読み聞かせ
楡形西小	<ul style="list-style-type: none"> ・1~6年生 週1回（図書授業時） ・11月読書月間 月・火・金1~6年朝10分（7日間）

豊小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書時間に担任や司書が行っている（主に低学年） ・ 読書週間中の職員による読み聞かせ（全クラス） ・ 6月と11月の読書週間中に、図書委員会児童による読み聞かせ（1～3年生） → 令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため6月は実施していない ・ 11月の読書週間中にボランティアによる読み聞かせ（1～4年生）
落合小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は新型コロナウイルス感染症予防対策でやっていみせんでしたが、11月2日の朝学でなかよし読書実施
大明小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週木曜日 8:25～8:35 1～5年生対象 実施者 読書ボランティア、図書委員による読み聞かせ、担任
南湖小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝読書の時間にボランティアさん 全学年に年間3回くらい ・ 朝読書の時間に図書委員 1、2年生に月1～2回くらい ・ 授業の時に担任
子どもの村小	各クラスの担任の裁量で、基礎学習の時間に行っています

問4 図書館や校内などでは、読書をすすめるための広報活動を行っていますか？実施していれば、内容を教えてください。

八田小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書だより ・ 6月に縦割り読書、絵本のクイズ、先生方の読み聞かせ、ビブリオバトル、読書川柳 ・ 11月におすすめの本の（全校）掲示 <令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防対策ため6月は読書川柳 11月はおすすめの本の掲示 図書委員会の活動で毎月おすすめの本の掲示>
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書だより ・ 10月に縦割り読書 ・ 図書集会 ・ 先生方の読み聞かせ ・ 図書委員によるおすすめの本の紹介 ・ ビブリオバトル（新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止）
白根飯野小	6月と11月に読書月間を設けている。分類別の本をかりてビンゴをする、読書クイズ（校内に掲示）、本の紹介くじ
白根東小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書だより ・ 先生方によるおすすめの本の掲示＋図書委員会によるPRビデオ放送 ・ 読書イベント（葉のプレゼント、校内にポスター掲示）
白根百田小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書だより ・ 図書委員会活動（紙芝居、本の紹介） ・ 読書イベント
芦安小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書だより ・ 図書委員会活動（本の紹介） ・ 読書イベント ・ 2～6年が図書時間に各自本の紹介
若草小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書だより ・ 推薦図書 ・ 読書週間イベント ・ 1～2年生へ図書委員会による読み聞かせ
若草南小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書だよりの発行（月1回） ・ 季節や行事ごとのおすすめ本の展示 ・ 読書週間等での図書委員、先生による本の紹介 ・ 図書館クイズ
小笠原小	<ul style="list-style-type: none"> ・ としよだよりの発行 ・ 季節、行事と学年向けおすすめ本や新刊の展示 ・ 読書週間等での図書委員や先生による本の紹介 ・ 図書館クイズ ・ 自校HPに図書館の活動や様子を掲載
楡形北小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書だよりの発行と新刊図書の紹介 ・ 読書週間中の催しのお知らせ

楡形西小	・図書だより ・季節の本の紹介 ・新聞クイズ ・読書月間（読書ビンゴ&パズル・プラス券・しおり券・図書館キャラクター・ラッキーナンバーくじ・全校おすすめの本・先生方や図書委員会の読み聞かせ）
豊小	・児童、職員のおすすめの本の掲示 ・図書だよりの発行
落合小	・図書通信 ・推薦図書の取り組み
大明小	・読書週間の設定 ・委員会の活動として、図書委員による読み聞かせ ・おすすめの本の紹介等
南湖小	・としょだよりの発行 ・本の紹介など ・図書委員のおすすめの本の紹介（手書きのPOP）
子どもの村小	本校では、全校そうじ（ユースフルワーク）の時間があり担当の子が季節にあった本を紹介したり、お気に入りの本を見やすい所にレイアウトしています。

問5 学校では、市立図書館をどのように活用していますか？

八田小	・授業に必要な資料をお借りする ・年に2回ほどスタンプラリー <令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため 資料をお借りしただけ>
白根源小	・調べ学習資料が足りないとき ・大型絵本を借りる ・教師や児童からのリクエスト本が自校に無いとき
白根飯野小	・授業で使用する本を中心に活用している
白根東小	・司書を通じて必要な資料をかりている ・調べ学習等で使用する内容の本の貸し出し
白根百田小	・調べ学習などで必要な本を借りる
芦安小	
若草小	・調べ学習で必要な本を借りる ・夏休みのスタンプラリー
若草南小	・調べ学習で必要な本を借りる ・夏休みのスタンプラリー ・おはなし会や読み聞かせで必要な大型本、エプロンシアター、パネルシアターの資料の貸出
小笠原小	・調べ学習など授業に必要な資料、読み聞かせ用に大型絵本や紙芝居を借りる ・選書や読み聞かせ、イベントなど情報収集と相談 ・学年で地区探検先として活用
楡形北小	・調べ学習資料等の相互貸借
楡形西小	・調べ学習などで必要な本を借りる ・図書委員会の読み聞かせ用の大型本を借りる
豊小	・調べ学習資料の相互貸借 ・選書の参考にする（内容を確認したいときなど）
落合小	・学級担任はあまり活用していない
大明小	・2学年の地区探検で、毎年甲西図書館を探検場所に設定し身近に市立図書館があるということを知ることが目的として活用している（今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため見学することができませんでした。）
南湖小	・授業に使う資料を借りる ・図書集会で使う人形劇のセットを借りていた
子どもの村小	・しらべ学習のために、本を借りたり出向いたりしています。

問6 日頃、学校図書館を利用してもらうためにどのような事を実施していますか？

八田小	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で必要な資料の収集 ・児童に合わせた資料の紹介 ・担任の先生方と情報共有 ・図書館たよりの発行 ・雨の日のプラス1冊貸出 ・貸出30冊ごとのプラス券の発行 ・誕生日にプラス1冊の発行 ・季節に合わせた本の紹介の掲示 ・図書室の本棚に季節に合わせたおすすめの本の展示（本の選書に迷った児童は借ります）
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> ・プラス一冊券の発行 ・貸出50冊ごとの表彰 ・おすすめの本カードの掲示と本の展示 ・季節ごとの展示 ・季節のイベント（新型コロナウイルス感染症予防対策で中止） ・図書だよりの発行
白根飯野小	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別おすすめの本リストを提示し、スタンプを集める。スタンプがたまると1冊プラス券やしおりのプレゼントがある。
白根東小	<ul style="list-style-type: none"> ・校内読書週間の設定 ・休み時間の利用者にプラス券（一冊多く借りられる券）の配布 ・新型コロナウイルス感染症予防対策とともに曜日ごと学年別の貸し出しを行う、また放送での呼びかけ
白根百田小	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの展示、掲示物 ・図書委員会の活動 ・図書だより ・読書イベント
芦安小	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックリレー ・季節ごとの展示、掲示物 ・図書委員会の活動 ・図書だより ・読書イベント ・プラス券配布
若草小	<ul style="list-style-type: none"> ・読書記録の記入 ・図書委員によるポップの本紹介 ・読書記録が1枚、終わるとプラス1冊券、しおり作れます券を配布
若草南小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館クイズ ・学年別おすすめ本 ・多読賞 ・新刊紹介（図書だより、掲示） ・新聞トップニュース（毎日小学生新聞の記事から先生にクイズを出してもらい、クラスごと答える） ・イベント時のプラス貸出券やしおりの配布
小笠原小	<ul style="list-style-type: none"> ・としょかんだより発行 ・図書集会（令和2年度はテレビ放送）実施 ・展示の工夫、イベントの開催（令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防対策をしつつビンゴやくじびき） ・ぷらす券の配布 ・しおりプレゼント ・校内研とからめ家読推進
楡形北小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書だよりの発行や新刊の紹介 ・読書ポイントカードの配布 ・調べ学習資料の準備、提供
楡形西小	
豊小	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間の実施 ・図書だよりの発行 ・調べ学習資料の準備 ・お楽しみ券（プラス1冊券など）の発行 ・児童の貸出冊数を担任に知らせる（毎月）
落合小	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間のポイントカード（たまるとプラスカード）
大明小	<p>図書だよりの発行や新刊の本の紹介、各学年の図書の貸し出し時に分類などのミニクイズを出してもらうなど、司書の先生が様々な工夫をしてくださっている。</p>
南湖小	<ul style="list-style-type: none"> ・学活の時間 週1回 図書の時間にしている ・本の予約 ・貸出30冊ごとに名前を書いたカードを掲示（カードが変わると前のものをもう1冊借りられる券としてもらえる） ・各学年10冊ほどのおすすめの本を用意し、読み終わると名前を書いたカードを掲示（リーダーズライセンスというラミネートしたしおりを作れる用紙をもらえる）
子どもの村小	

問7 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

八田小	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書の日におすすめの本の紹介（こいのぼり） ・学校独自の読書月間は6月に設定 ・秋の全国読書週間はおすすめの本の紹介
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の読み聞かせ ・貸出可能数プラス1 ・図書集会
白根飯野小	問4に記載
白根東小	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の読み聞かせとおすすめの本の紹介 ・様々な分類の本を読めるようなすごろくカード ・学年（ブロック）ごとの貸出数による順位付けと商品（プラス券）をわたす
白根百田小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会の紙芝居 ・期間中たくさん借りた児童に封筒プレゼント ・読書ラリー（本を借りたらチェックしていく→チェックがたまると1冊券やしおりがもらえる）
芦安小	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出数増加 ・ポイントカード ・ビンゴ ・うちどく ・図書集会 ・プラス券 ・くじ
若草小	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数の増加 ・くじ引き ・ポイントカード ・図書委員によるクイズと本紹介
若草南小	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ（図書委員、ボランティア、教師） ・3冊貸出（通常2冊） ・図書委員が選んだ本で絵本投票 ・図書集会、ビデオ放送
小笠原小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員や先生による本の紹介や読み聞かせ ・全児童による友達におすすめの本の紹介（展示後ファイルし図書館保管児童は閲覧できる） ・図書集会（テレビ放送） ・スタンプラリー ・親子読書の実施（PTA主催） ・3冊貸出 ・しおりやぷらす券配布
櫛形北小	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会の取り組み（図書委員おすすめの本の掲示と展示、先生のおすすめの本の掲示と展示、大好きな本総選挙の結果発表）
櫛形西小	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方や図書委員会の読み聞かせ ・図書館キャラクター発表 ・多読賞の発表としおり ・おすすめの本掲示・読書ビンゴ&パズル ・返却された本のラッキーナンバーくじ ・いつもよりプラス2冊貸し出し
豊小	<ul style="list-style-type: none"> ・貸し出し冊数を増やす ・児童、職員のおすすめの本を掲示 ・職員、図書委員会児童、ボランティアによる読み聞かせ ・図書室で本に関するクイズやゲームを行う（令和2年度は実施せず）
落合小	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年めあてをたて達成したら掲示 ・新聞クイズ ・くじ
大明小	<ul style="list-style-type: none"> ・しおり作り ・しおり入れ作り ・読書記録カード ・おすすめの本の紹介 ・お楽しみ工作 ・先生方の読み聞かせ
南湖小	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 子どもの読書週間 1週間～10日間 プラスカード ・10月 読書週間 3週間 先生のだいすきな本と児童のだいすきな本の紹介 ポイントカード、図書集会 ・2月 ミニ読書週間 1週間 ミニポイントカード、図書委員の読み聞かせをテレビ放送
子どもの村小	

問8 司書教諭の持時数は1週間にどれくらいですか？また、そのうち図書に関する持時数も教えてください。（ ）で記入。

八田小	30時間(0)
白根源小	司書教諭の配置なし
白根飯野小	26時間(1)
白根東小	15時間(0)
白根百田小	25時間(0)
芦安小	司書教諭の配置なし
若草小	27時間(0)
若草南小	25時間(1)
小笠原小	29時間(1)
楡形北小	司書教諭の配置なし
楡形西小	司書教諭の配置なし
豊小	24時間(1)
落合小	司書教諭の配置なし
大明小	20時間(1)
南湖小	司書教諭の配置なし
子どもの村小	

問9 司書教諭の現状と課題などを教えてください。

八田小	
白根源小	
白根飯野小	学校司書の先生にお任せしてしまっている所が多い。
白根東小	司書教諭とは名ばかりで全くと言っていいほど実績もなくいるのが現状です。(恥ずかしながら…)
白根百田小	
芦安小	
若草小	司書教諭が担任を持つ事が多く、読書指導を行う時間を取るのが難しい。
若草南小	司書教諭が担任を持つ場合が多く、多忙のため読書指導のための時間が取れない。
小笠原小	学校司書の先生と相談しながら行っているが、他の業務に時間をとられ、司書教諭としての仕事の時間はなかなかとれない。
楡形北小	
楡形西小	
豊小	図書館に関する仕事をする時間がとれない。
落合小	
大明小	学年・学級事務が多く、なかなか司書教諭の仕事ができない。
南湖小	
子どもの村小	

問10 選書は、誰がどのように行っていますか？

八田小	<ul style="list-style-type: none"> ・司書が各先生方と相談して授業の資料を選書 ・児童からのリクエストも参考に選書
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に取り上げられている本を優先に司書が選書 ・児童からのリクエスト ・教師からの希望
白根飯野小	<ul style="list-style-type: none"> ・司書が児童や教職員からのリクエストや、授業で並行読書に使える本を購入している。
白根東小	<ul style="list-style-type: none"> ・主に司書の先生 年度初めに全職員に希望図書を呼びかけた（カタログとともに） ・校内で実施の書店による全職員対象の本の展示会で選書
白根百田小	<ul style="list-style-type: none"> ・基本は司書が選書（TRCカタログなど参考に選書、授業などで必要な本、人気の本） ・職員の要望を聞き、授業などに必要な本を選書
芦安小	<ul style="list-style-type: none"> ・司書が先生方の希望、児童のリクエスト、教科に合った本等を考慮し選書
若草小	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書が児童のリクエスト、先生方の希望、教科にあった本を選書する
若草南小	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書が、教師と児童の希望をもとに選書している
小笠原小	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書に不足の資料（教育課程で使用する資料等）、分類構成の増減を見ながら、図書館主任や教科担当と相談し、主に司書が行う ・教職員、児童のリクエストは随時受付
楡形北小	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の希望を受け、TRCのカタログ等を参考に司書が選書
楡形西小	<ul style="list-style-type: none"> ・司書が先生方や児童にリクエストを聞き、話題の本や課題図書、授業で使う本シリーズの新刊本、各社の推薦図書の資料を参考に予算の中で選書している
豊小	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、職員の要望を受け、司書と図書館主任が選書を行う（カタログを参考にしたり、ブックフェアなどを利用している） ・書店の巡回図書などを利用することもある
落合小	<ul style="list-style-type: none"> ・司書（リクエストカードやカタログ、先生たちの要望などから）
大明小	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方、児童の要望を受け、図書カタログなどを参考に主に司書が選書
南湖小	<ul style="list-style-type: none"> ・司書 ・教師や児童の要望を司書がまとめて、可能な限り購入している
子どもの村小	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で、1年に1度、今年使う本を選んでいる。

問11 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。

八田小	
白根源小	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習など情報を得る活動での利用が多くなってきているので、図書とインターネットの両方が一度に利用できるような環境を整えていく ・図書室にも校内無線LANが届く環境を作してほしい ・教科に関連した図書の利用がしやすいようにする（同じ本を複数配架する等） ・楽しみとしての読書のよさを伝えていく ・大人が読書をしている姿を子どもに見せる ・子どもに図書カードがもらえる機会を与えてあげてほしい
白根飯野小	絵本から読み物の本へのスムーズな移行、高学年の読書好きを増やすにはどうしたら良いか、勉強していきたい。アンケートを通し、本校の読書活動の実態がわかって良かった。
白根東小	昨日コロナ禍で移動図書が人気だとニュースで知りました。学校にも図書館だけでは密になるので、移動図書カーなどが来るのも楽しいかなあなどと思いました。
白根百田小	・学校図書館と家庭との連携(家読など) ・学校図書館と市立図書館との連携
芦安小	市立図書館の見学や読書会への参加を快く引き受けてくれてありがたい。児童が本を借りたくなるような図書館作りが大切。担任からの声掛けが大事。
若草小	図書館運営を行うにあたって、どのように行えば良いか、とても参考になる。
若草南小	子どもたちへ本をすすめていくためには、学校図書館と教師が連携して本を読む楽しさを伝えていくことが大切だと感じる。また、朝読や授業の中で、本を読む時間を確保し、習慣づけることが必要である。各クラスの実態に合った読書活動の推進には、専任の司書がこれからも必要だと思う。
小笠原小	子どもたちの行動や興味・考え方もコロナ禍で変化しているため、ニーズを注視すること。児童本人と交流をはかり、担任・家庭と連携を行う。予算削減が予定される今後、市立や県立図書館など公共図書館や学校図書館間ともさらに連携を深め、子どもたちの読書環境を整えることが読書推進につながる。
楡形北小	コロナ禍や児童・生徒の多忙化の中、如何にして読書のための時間的ゆとりを確保できるかを、今回のアンケート結果をふまえ、学校と家庭、学校図書館と市立図書館とが、これまで以上に連携して考えていく必要がある。
楡形西小	家読の実施で家庭との連携を図る
豊小	セカンドブックの取り組みはとてもありがたいです。本から離れがちになる高学年・中学校の入学の頃に「サードブック」があると嬉しいなと思いました。
落合小	<ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しむ活動を図書室から発信されている ・今年は読み聞かせ自粛でできずにいる ・給食中に朗読CDをかけている
大明小	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、図書館で利用や子ども向けのお話会などに制限がありますが、また通常通りの利用ができるようになればいいと思います。
南湖小	・PTA文化部が主催し、年に1回親子読書を実施し、感想文集を発行している。親子で1冊の本を囲んで会話ができ、好評で、本校では10年以上続いている。
子どもの村小	

市内読書施設に関するアンケート調査（中学校）

問1 朝の読書タイムなど全校一斉の読書活動を実施していますか？実施していれば、いつ・時間はどのくらいですか。

	ア. はい	いつ・時間	イ. いいえ
八田中	○	通年 8時25分から10分間	
白根巨摩中	○	通年 8時25分から11分間	
白根御勅使中	○	通年 8時25分から12分間	
芦安中	○	通年 8時15分から10分間	
若草中	○	通年 8時25分から10分間	
櫛形中	○	通年 朝の会前に10分間	
甲西中	○	通年 10分間（月～水）	
子どもの村中			○

問2 全校一斉の読書活動を実施していない理由は何ですか。

子どもの村中	いつも身近なところに本があるため。また普段の授業では自分で資料を調べ、発表するなどの形式が多いので、本を使うことが多いため。
--------	--

問3 学校では読み聞かせをしていますか？ 実施していれば、いつ・時間・対象学年・実施者数を教えてください。

八田中	年に2回の校内読書週間（朝読）中に担任の判断で行っているクラスもある
白根巨摩中	読書週間中（10月）に朝読の時間を利用して全学年に教師による読み聞かせ、または本の紹介を実施。
白根御勅使中	基本的にはしていませんが、家庭科や国語の授業の中で司書が読み聞かせをする時間がありました。2・3年生に各クラス1回程度
芦安中	年間15回程度教職員が朝読書の時間に各学年に読み聞かせを行う 実施者数10人
若草中	校内読書週間中（12月）に朝読の時間を利用して全学年に教師による読み聞かせ、または本の紹介を実施
櫛形中	
甲西中	11月に朝の読書の時間を利用して、全学年に教師による読み聞かせを実施
子どもの村中	特にしていません

問4 図書館や校内などでは、読書をすすめるための広報活動を行っていますか？実施していれば、内容を教えてください。

八田中	<ul style="list-style-type: none"> ・図書だよりの発行 ・全校一斉読書の実施（年2回） ・夏／冬休み前の特別貸出 ・図書委員のおすすめの本の紹介 ・創作部による本の紹介POP展示 ・新刊本やおすすめ本の展示コーナー
-----	--

白根巨摩中	・図書だよりの発行 ・先生方のおすすめの本の紹介 ・新着本の紹介展示 ・テーマにそった本の展示
白根御勅使中	・図書だより発行 ・先生方のおすすめの本の紹介
芦安中	・図書だよりの発行 ・委員会の活動（ポスター作成・朝の会でのPR） ・夏／冬休み前の特別貸出
若草中	・図書だよりの発行 ・教室用掲示ポスターの配布 ・夏／冬休み前の特別貸出 ・読書リストの配布と展示
櫛形中	・図書だより ・学園祭などの展示 ・図書委員会のポスター（今年から）
甲西中	・図書館だよりの発行 ・一斉読書の実施（年2回） ・夏／冬休み前の特別貸出 ・図書委員会と教師によるおすすめ本の紹介 ・新刊本やおすすめ本の展示コーナー ・学級文庫の貸出
子どもの村中	特にしていません

問5 学校では、市立図書館をどのように活用していますか？

八田中	調べ学習など、授業で必要とする資料の借受
白根巨摩中	授業で必要とする資料や、テーマに沿った本の紹介用の資料の借受
白根御勅使中	本の貸出 職場体験の依頼
芦安中	不足している資料を借りる
若草中	調べ学習用の資料、自校にない蔵書の借受
櫛形中	各教科に必要な資料が学校図書館にない、または足りない時に団体貸出をお願いしている
甲西中	各教科の授業内容に応じて、主に調べ学習の資料などを借りている
子どもの村中	クラスで行き、本を利用させていただいたり、教科で活用させていただいています。

問6 日頃、学校図書館を利用してもらうためにどのような事を実施していますか？

八田中	・図書だよりの発行 ・総合、調べ学習などで使用する資料の収集や利用時の支援 ・テーマや季節の展示 ・図書委員会の活動を通しての呼びかけ
白根巨摩中	・図書だよりの発行 ・学級文庫の貸出 ・テーマに沿った本の紹介 ・図書委員会の活動を通しての取り組み ・先生方を通じての生徒への呼びかけ ・月曜日の部活のない放課後に「月曜日は図書館に行こう」と呼びかけ
白根御勅使中	・朝読書での本の活用 ・国語などの授業での活用
芦安中	・図書だよりの発行 ・図書委員会の活動を通しての呼びかけ ・テーマや季節の展示 ・朝読書 ・職員の読み聞かせ ・総合、調べ学習などで使用する資料の収集や利用時の支援
若草中	・学級文庫の貸出（毎月20冊） ・月ごとにテーマを決めて図書を展示 ・図書委員を通じての呼びかけ ・調べ学習用のリストの配布 ・新刊案内の配布
櫛形中	・図書だよりや図書館での過ごしやすい雰囲気づくりのための環境整備 ・使いやすい図書館を目指して展示や掲示、書架サインや書架整理などの基本的なこと

甲西中	・図書だよりの発行 ・テーマや季節の展示 ・図書委員を通じての呼びかけ ・総合や調べ学習などで使用する資料の収集や利用時の支援 ・学級文庫の設置
子どもの村中	特にしていません

問7 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

八田中	・朝読書を中心とした読書週間を年に2回実施 ・おすすめの本の紹介 ・しおりやブックカバーのプレゼント
白根巨摩中	・貸出冊数を増やす ・しおりやブックカバーのプレゼント ・読書ビンゴ ・「ほんのすけ大賞」全校生徒が一人一冊選んだおすすめの本の中から、投票で一番読んでみたい1冊を決めました ・教師による本の紹介または読み聞かせ
白根御勅使中	・一斉読書、一行大賞の実施
芦安中	・貸出冊数を増やす ・しおりプレゼント
若草中	・貸出冊数を増やす ・教師のおすすめの本の展示 ・多読賞の表彰 ・教師による読み聞かせ、本の紹介 ・しおり、ブックカバーのプレゼント
櫛形中	・貸し出し冊数を期間中は増やす ・しおりの配布、スタンプラリーなどのイベント ・教師のすすめる本の紹介、図書委員によるポスター作成
甲西中	・貸出冊数を増やす ・しおりの配布 ・おすすめ本の紹介 ・貸出しプラス1冊券のプレゼント
子どもの村中	ありません

問8 司書教諭の持時数は1週間にどれくらいですか？また、そのうち図書に関係する持時数も教えてください。（ ）で記入。

八田中	司書教諭の配置なし
白根巨摩中	司書教諭の配置なし
白根御勅使中	司書教諭の配置なし
芦安中	司書教諭の配置なし
若草中	24時間(0)
櫛形中	
甲西中	22時間(0)
子どもの村中	

問9. 司書教諭の現状と課題などを教えてください。

八田中	司書教諭の配置なし
白根巨摩中	司書教諭の配置なし
白根御勅使中	司書教諭の配置なし 図書館にかかわる時間の確保の難しさ
芦安中	司書教諭の配置なし
若草中	司書と連携して授業教材の活用や図書室利用を行っており、深い学びの一助となるようにこれからも連携していきたい。
橿形中	名目上のものに過ぎず読書指導やレファレンスにかかわることが困難である。
甲西中	司書がいるので時間数の減はなく、司書と協力して運営することができている。
子どもの村中	

問10 選書は、誰がどのように行っていますか？

八田中	教職員や生徒の希望に沿いながら司書が行う
白根巨摩中	教職員や生徒の要望に応じながら司書が行う
白根御勅使中	教職員や生徒の要望に応じながら司書が行う
芦安中	司書が生徒の要望を取り入れたり、先生方に学習内容を聞いたりしながら行う
若草中	教職員や生徒からの要望に応じながら司書が行っている
橿形中	司書がカタログ、売れている本のランキング、書店や公共図書館などの実物、生徒・教員のリクエスト、書評などを参考に行っている
甲西中	教職員や生徒からの要望に応じながら司書が行っている
子どもの村中	職員全員で、1年に1度、今年使う本を選んでいる。

問11 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。

八田中	中学校は年間を通して行事や部活動も盛んで、読書に親しむ時間が確保しにくい。そのため、朝読や授業での図書館活用を積極的に行っていくことが読書活動の推進につながっていくと思う。また、学校の図書予算も増額してほしい。
白根巨摩中	ゲーム機やスマートフォンの利用時間が増え、子どもたちが活字にふれる機会が減っている。そのような状況の中でも、朝読書の取り組みや授業・総合の時間での図書館利用など、学校の教育活動内で読書活動を推進することが、子どもたちの生きる力の向上にもつながっていくと思う。図書館主任や司書だけでなく学校教育にかかわる教職員全体で同じ意識をもって読書活動の推進に取り組んでいけることが理想だと思う。
白根御勅使中	とくにありません
芦安中	朝読書の時間の確保、生徒の要望を取り入れた選書等を行うことが必要
若草中	中学生になると多忙になり、図書の時間も無くなるため、小学生の時よりも読書をする機会が少なくなってしまう。そのような中でも毎朝10分の読書タイムを設けることで、読書習慣を身に付けてほしい。
橿形中	
甲西中	教員が読書活動に対して高い意識を持てるよう、管理職への働きかけが必要だと思う。また、中学生は多忙なので、家庭での読書活動を推進するのは現実的ではない。むしろ学校で短時間でも本にふれる時間を確保し、本への興味・関心を高める活動に力を入れる方が良いと考えている。
子どもの村中	

市内読書施設に関するアンケート調査（高校）

問1 朝の読書タイムなど全校一斉の読書活動を実施していますか？実施していれば、いつ・時間はどのくらいですか。

	ア. はい	いつ・時間	イ. いいえ
巨摩高校	○	毎日 始業前 5分間	
白根高校			○

問2 全校一斉の読書活動を実施していない理由は何ですか。

白根高校	なかなかまとまった時間がとれないため。（全校一斉のPOP作りを毎年実施し、読書推進に繋がりたいと考えています。）
------	--

問3 学校では読み聞かせをしていますか？ 実施していれば、いつ・時間・対象学年・実施者数を教えてください。

巨摩高校	実施していません。
白根高校	読み聞かせは実施していません。

問4 図書館や校内などでは、読書をすすめるための広報活動を行っていますか？実施していれば、内容を教えてください。

巨摩高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書委員会主催「巨摩高ビブリオバトル」（年1回開催） ・ 図書館広報紙「らいぶらりい」（月1発行）で新刊案内 ・ 図書委員会広報紙「こまどく」（年5回程度発行）で図書委員おすすめの本の紹介
白根高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館だより配布 ・ 学校のホームページに載せる。

問5 学校では、市立図書館をどのように活用していますか？

巨摩高校	学校図書館で団体貸出の利用 生徒会主催イベント「巨摩フェスタ」の会場使用（昨年度） 「ビブリオバトルin南アルプス」への参加（昨年度）
白根高校	授業等で使う資料が学校にない場合、市立図書館からお借りしています。

問6 日頃、学校図書館を利用してもらうためにどのような事を実施していますか？

巨摩高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本のテーマ展示の実施（数週間から月1回程度で入れ替え）
白根高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動 ・ オリエンテーション（入学時） ・ 季節にあわせた飾りつけや、図書の展示 ・ 授業で利用してもらうことで、普段図書館に来ない生徒が足を運びきっかけをつくる

問7 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

巨摩高校	学校独自に「読書月間」（今年度は10月22日～11月19日）を設け、期間中に、学校図書館でイベントを行っている。今年度は本を借りたらくじをひき、当たったら雑誌の付録がもらえる「スピードくじ」と、巨摩高校で人気の現代作家に投票する「現代作家総選挙」を実施。
白根高校	読書週間に合わせて、全校一斉におすすめの本のPOP作りを毎年実施し展示しています。

問8 司書教諭の持時数は1週間にどれくらいですか？また、そのうち図書に関係する持時数も教えてください。（ ）で記入。

巨摩高校	17時間（1）
白根高校	17時間（0）

問9 司書教諭の現状と課題などを教えてください。

巨摩高校	教員としての他の業務が多いため、図書館の運営や図書委員会の活動などの大半を司書にお願いしている。
白根高校	司書教諭としての仕事以外が多いことで、なかなか読書推進の活動ができないこと。

問10 選書は、誰がどのように行っていますか？

巨摩高校	司書が、本の通販サイトや各種出版社のちらし、雑誌の本の紹介文等を参考に選書している。
白根高校	主に司書が行っておりますが、先生方や生徒からのリクエストにも応えるように努めています。

問11 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。

巨摩高校	
白根高校	子どもの頃に読書の楽しさを知ることは、一生の支えになると思います。読書活動の推進はとても有意義な活動だと思います。地域の小中高の学校図書館や市立図書館との連携が図れるよう活動に参加していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

施設を対象としたアンケート調査では、市内の小中学校と高等学校2校を対象に行った。全校一斉読書はほとんどの学校で継続して行われている。年齢を重ねるごとに勉強や課外活動など子どもたちの生活が忙しくなる中で、学校で読書の時間を確保することは、子どもの読書習慣の定着において重要な役割を果たしているといえる。また、読み聞かせや学校図書館を利用してもらうための工夫など、各学校で継続して行っている。今後も学校図書館と市立図書館で連携して子どもたちの読書活動を推進していきたい。

市内読書施設に関するアンケート調査（保育所・各園）

問1 お話の時間（読み聞かせ）を実施していますか？ 実施していれば、だれが・いつ・時間はどのくらいですか？

※市内すべての各園・保育所でお話の時間を実施している。(100%)

	いつ	だれが	時間
八田保育所	活動導入時、午睡前	保育士	10分
巨摩保育所	午睡前・あいた時間 遅番・早番など	保育士	5分くらい
白根東保育所	お昼寝前	保育士	10分
百田保育所	午睡前・延長保育時	担任・担当職員	5～10分
白根保育所	お昼寝前など	担任	15分
若草保育所	お昼寝前	保育士	10分位
たちばな保育園	活動の合間・食事前 午睡前・降園前	各クラスの担任	10～15分間ずつ 1日2～3回
十日市場保育園	お帰りの会	担任	10分
楡形中央保育所	午睡前・活動と活動の 間・行事の時	担任	5～10分
楡形北保育所	早番・遅番・クラス	当番・担任	2冊程度読める時間
楡形西保育所	午睡前・遅番	保育士（担任）	12：45～13：00 16：30～
豊保育所	食後	保育士	午後1時頃
さくらんぼ保育園	生活の節目ごとに（朝 夕のお集まり・給食の 前・午睡の前後・おや つ前・延長保育など）	担任や担当保育士	数分
落合保育所	保育時間・お昼休み	各クラスの担任	10～15分
大明保育所	保育の時間	担任・主任	いつでも、午睡前は必ず絵本又は 紙芝居を読む
ポップの家	毎日午睡前・夕方・その 他児童との遊びの中で	保育教諭	10～20分
南湖保育所	午睡前・帰りの前 活動の際	保育士	5～10分
小笠原幼稚園	毎日	クラス担任	14：00から5分ほど
みだい幼稚園	空いた時間に	担任	10～15分
バンビバイリンガル 幼稚園	①英語の朝の会（サー クルタイム） ②帰りの会 ③預り保育の開始時	①英語の先生 ②日本人の先生	①10：00頃1冊 ②14：00頃1冊 ③14：40頃1冊
マコト愛児園	お昼寝前・活動前	保育教諭	5～10分（年齢により異なる）
にこにこキッズ保育園	朝の会・帰りの会 ・活動の切り替え	各担任	5分～10分程度

問2 図書室や図書コーナーはありますか。あれば、名称、広さ、蔵書数、児童への貸出等記入してください。

※市内ほとんどの各園・保育所で図書コーナーを設けている。(90%)

	ある○ なし×	名称	広さ	蔵書数	児童への貸出	
					ある	ない
八田保育所	○	わくわくおはなし文庫	6㎡	413冊	○	
巨摩保育所	○	わくわく文庫	3.3×3.3㎡	500冊	○	
白根東保育所	○	わくわくお話し文庫		770冊	○	
百田保育所	○	おはなし文庫	6㎡	450冊	○	
白根保育所	○	なかよし文庫	3㎡	250冊	○	
若草保育所	○	図書コーナー	5㎡位	約544冊	○	
たちばな保育園	○	特になし	4～5㎡	500～600冊	○	
十日市場保育園	○		1㎡	約30冊		○
楡形中央保育所	○	なし (遊戯室の一角に本棚がある)		235冊	○	
楡形北保育所	○	えほんのへや	18㎡	470冊	○	
楡形西保育所	○	わくわく文庫			○	
豊保育所	○	わくわく文庫		50冊		○
さくらんぼ保育園	○	図書コーナー			○	
落合保育所	○	わくわくおはなし文庫	1.2㎡	100冊		○
大明保育所	○	なし(各クラスにある)	各クラス、事務室 子育て支援室			○
ポッポの家	○	①絵本コーナー ②各クラス・玄関コーナー	①3.4㎡	①1000冊 ②500冊		○
南湖保育所	○	図書コーナー、わくわく おはなし文庫、各部屋廊 下に本棚を設置		約612冊 他月刊誌など	○	
小笠原幼稚園	○	各教室の本棚	三段ボックス	50～100冊		○
みだい幼稚園	×					
バンビバイリンガル幼稚園	○	ライブラリー	16.5㎡	約2000冊	○	
マコト愛児園	○	各教室・職員室に設置 (移動できる本棚あり)		200冊		○
にこにこキッズ保育園	×					

65% 35%

・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、図書コーナーの休止または児童への貸出を休止している保育所・各園があります。

問3 市立図書館をどのように活用していますか？

八田保育所	行事などに必要な資料を探す、大型絵本を借りる おはなし広場などに参加（今年はダメですが…）
巨摩保育所	誕生日会や保育の中で使用したい物がある時
白根東保育所	貸出図書利用
百田保育所	毎月40冊の絵本や紙芝居を貸して頂き、読み聞かせの時間にその本を活用している。保育所にはない絵本などを借りて、行事等に活用している。
白根保育所	園外保育へ出かけさせていただいている。 月毎に絵本や紙芝居を持ってきていただき、見せていただいている。
若草保育所	園外保育の際、図書館内を見学してもらったり、お話し会を依頼しています。 月に1度40冊の絵本を保育所に貸出をしてもらっています。
たちばな保育園	毎月本の貸出をして頂いています。
十日市場保育園	毎月本を届けて頂き、絵本の読み聞かせ率が確実に上がっています。
楡形中央保育所	定期的に絵本を借りている（絵本・紙芝居の入れ替え）、出前図書
楡形北保育所	団体貸出の利用
楡形西保育所	行事があるときにパネルシアター、エプロンシアター、大型紙芝居等を借りに行くことがあります。
豊保育所	毎月図書館より図書を借り、読み聞かせを実施している。
さくらんぼ保育園	年長児の散歩の目的地、絵本を借りる、お話の会
落合保育所	毎月の貸出図書、紙芝居を読み聞かせしている
大明保育所	子どもたちと一緒に行って絵本を借りる、職員が紙芝居を借りる
ポッポの家	園に直接本を届けて頂いています。0才～6才の子どもたちにまんべんなく行き届く内容、又季節にあったもの、イベントにあったものをチョイスして頂いております。ありがたいという感謝の気持ちです。
南湖保育所	移動図書館で活用
小笠原幼稚園	特に利用なし
みだい幼稚園	
パンピバイリンガル幼稚園	
マコト愛児園	定期的に絵本を届けて頂いているのを利用したり、行事前に内容に見合った本や紙芝居を借りることがあります。
にこにこキッズ保育園	季節行事の本などを利用している。

問4 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している取り組みがあったら教えてください。

八田保育所	常に絵本等読んでいるので、特に行っていません
巨摩保育所	
白根東保育所	特になし
百田保育所	
白根保育所	特になし
若草保育所	特にありません
たちばな保育園	毎日絵本の読み聞かせをしているので、特別その日、その期間にはやっていません。
十日市場保育園	
楡形中央保育所	
楡形北保育所	特になし
楡形西保育所	子どもたちに本の貸出をしています。読み聞かせの時間や自分たちで本を読む時間を増やしています。
豊保育所	取り組みはなし
さくらんぼ保育園	毎日絵本の読み聞かせ等していて常に絵本が身近にあるため、特別に取り組むことはしていません。
落合保育所	特定日に実施しているものはない
大明保育所	
ポッポの家	
南湖保育所	特にありません
小笠原幼稚園	特になし
みだい幼稚園	
パンビバイリンガル幼稚園	特になし
マコト愛児園	特にありません
にこにこキッズ保育園	特になし

問5 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。

八田保育所	今年コロナの為に図書の貸し出し等の制限をしていました。しかし、絵本を読みたいという子がいたことから園内図書の貸し出しを年度途中から再開しました。図書館からの貸し出し絵本は主に保育士の読み聞かせの為に使用しています。これからもたくさんのお話しや珍しい本など届けていただけると嬉しいです。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。
巨摩保育所	親子で一緒に本を読む機会が増えるといいなと思っています。本の扱い方を保育所では知らせていますが、家庭でも知らせていただくとありがたいです。
白根東保育所	
百田保育所	本にふれる機会を増やすには、保護者のかかわりやすぐに本を手にとれる環境設定や設備などが大きく影響してくると思います。自主的に本にふれる機会を増やしていけるような環境作り、きっかけ作りが必要だと感じています。

白根保育所	いつもいろいろな絵本をかしていただき楽しく見せていただきありがとうございます。
若草保育所	絵本の出版数も多く、情報が大量にある中で、子どもたちにとって良質な絵本を大人がどのように選ぶのが課題だと思います。 子どもの身近に絵本（本）があること、手に取れる環境であることから、子どもたちに絵本に対する意識は大きく変わると思います。 絵本は数多く購入すると高額になり家庭でもなかなか購入できないので、図書館の利便性をもっとアピールすると良いと思います。
たちばな保育園	今までも良い本を紹介して頂いていますが、これからいろいろなジャンルの子どもたちの好きそうな、又子どもたちに読んでもらいたい本を紹介してください。 保護者へのアンケートは参考になる回答もありました。
十日市場保育園	
櫛形中央保育所	
櫛形北保育所	特になし
櫛形西保育所	保育所の子どもたちが絵本とふれあうきっかけや関心を占めるきっかけの場を作ってほしいです。
豊保育所	なし
さくらんぼ保育園	0才児の頃から読み続けられてきた”ベストセラー”の良書を大人が読み聞かせること。絵本を通して”その時自分のために読んでくれる”という大切な時間を共有して絵や物語、読んでくれる人の温もりなど様々なことを感じて想像して…という経験をたっぶりさせてあげたいです。 読み聞かせは、目の前にいて聴いている子どもたちと呼吸を合わせることを無意識におこなっています。読み手と聴き手の呼吸を感じながら一緒に絵本の世界を楽しむことで絵本の魅力が深まります。毎日毎日、特別なことではなく繰り返される生活の中にいつも絵本があることが、読書をあたりまえのことにするのだらうと思います。 子どもの手の届くところに絵本があり、いつでも手にとれる。大切に本を扱うことも、伝えていきたいです。
落合保育所	
大明保育所	
ポッポの家	
南湖保育所	図書館を利用している子どもたちもいたり、保育所でも読み聞かせやお話の会など、とても喜んでいきます。子どもの感性や創造力を豊かにして言葉を学んだり、得るものが大きいと思います。その環境を与えるために今まで推進していただいているように、子ども含めて親の意識が高まっていくことを願っています。
小笠原幼稚園	各園への読み聞かせ専門者による巡回読み聞かせ会や、おすすめの絵本や紙芝居などの贈呈、紹介の機会があると良い。
みだい幼稚園	
パンピバイリンガル幼稚園	
マコト愛児園	テレビやインターネットの普及により、子どもだけでなく大人も活字離れが問題となっているので、小さい頃から絵本に親しみ、想像力豊かな子どもになって欲しいという願いを込めてぜひ推進活動を行って欲しいと思います。
にこにこキッズ保育園	もし、定期便のような感じで図書館おすすめの絵本などが届くと、子どもたちも新鮮な気持ちで絵本を見られるし、保育者は子どもたちの反応が良くなり読み聞かせの時間を増やすと思う。読み聞かせが増えると、自然と今よりも子どもたちも絵本に興味を持ってもらえると思う。

市内読書施設に関するアンケート調査（児童館）

問1 お話の時間（読み聞かせ）を実施していますか？実施していれば、だれが・いつ・時間はどのくらいですか？

施設名	いつ	だれが	時間
青少年児童センター	第4金曜日	児童館職員	10時から 15分位
若草なかよし児童館	月1回	児童館職員	30分程度
おおケヤキ児童館	毎月第1水曜日（8月除く）	児童館職員	15分程度
八田児童館	月1回	児童館職員	30分程度
白根児童館	令和2年4月～令和3年3月 毎月第2金曜日 計12回	児童館職員	30分程度 (10:30～11:00)
甲西児童館	月に2回 午前中	児童館職員 読み聞かせボランティアスタッフ	20分程度

・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今年は未実施

問2 図書室や図書コーナーはありますか。あれば、名称、広さ、蔵書数、児童への貸出等記入してください。

	名称	広さ	蔵書数	児童への貸出
青少年児童センター	図書コーナー	14.4㎡	1769冊	ない
若草なかよし児童館	①図書コーナー ②乳幼児室	①約10㎡ ②約20㎡	1710冊	ない
おおケヤキ児童館	図書室	約33㎡	およそ800冊	ない
八田児童館	親子図書室	48.8㎡	1170冊	ない
白根児童館	図書コーナー	32㎡	261冊	ない
甲西児童館	図書コーナー	約25㎡	80冊	ない

問3 市立図書館をどのように活用していますか？

青少年児童センター	<ul style="list-style-type: none"> 児童館利用者向け雑誌や本を閲覧用に、月1回入れ替えている 幼児教室の時に年2回、図書館職員によるお話会を開催
若草なかよし児童館	<ul style="list-style-type: none"> 毎月50冊／月毎入れ替えを行っている（現在は館内での貸出禁止（持参したものはOK）としているため、職員用に制作物の資料となる本の貸出のみお願いしている。）
おおケヤキ児童館	<ul style="list-style-type: none"> 児童館への本の貸し出し 幼児教室の際の出前講座（読み聞かせ）
八田児童館	<ul style="list-style-type: none"> 月1回、図書の入替を依頼。 年2回、「図書館出前講座」と題し、幼児教室でのおはなし会を依頼。（今年はコロナのため未実施）
白根児童館	<ul style="list-style-type: none"> 年2回幼児教室（幼児親子20組）で、出前お話会として図書館司書が読み聞かせ（今年はコロナのため未実施） 毎月50冊程度、乳幼児向けの絵本、母親向けの育児雑誌、小学生向けの児童図書などを貸し出してもらう（毎月入替） お話会などで使用する絵本や紙芝居・手袋人形・パネルシアターなどを借りたり、おすすめの絵本などを紹介してもらう。

甲西児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし回などを実施する際、絵本（大型絵本含む）、紙芝居等を借りている ・幼児教室などのイベントで、司書が読み聞かせをする
-------	---

問4 「子ども読書の日」や「子ども読書週間」また「読書週間」に実施している
取り組みがあったら教えてください。

青少年児童センター	特になし
若草なかよし児童館	毎年図書館で開催されている「図書館おはなし会SP」にコラボ参加し工作の提供をしている（当日、児童館職員が工作コーナーを担当）
おおケヤキ児童館	特になし
八田児童館	毎年、図書館で開催されている「図書館おはなし会SP」にコラボ参加。児童館職員が工作コーナーを担当し、工作の提供を行なっている。
白根児童館	特になし
甲西児童館	特になし

問5 子どもの読書活動の推進について意見・要望をお聞かせください。

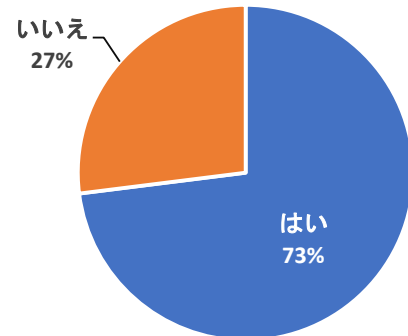
青少年児童センター	児童館を利用する児童に、本に親しんでもらうため、どのような事をしたら良いのか、職員のスキル向上のため講習会を行っていただきたいです。
若草なかよし児童館	
おおケヤキ児童館	
八田児童館	残念ながら、今年度は、「図書館おはなし会SP」、「図書館出前講座」ともに、実施することはできませんでしたが、今後も、図書館と協力しながら、読書活動の推進にかかわっていきたいです。
白根児童館	昨今は、時代とともに電子書籍なども増え、本の在り方が多様化してきているように感じます。従来の本や電子書籍など、形は違ってそれぞれの良さがあり、どれもが子どもたちにとって良いものであればと思います。児童館では、実際に手に取って本の質感にふれ、読み聞かせの中で親子と共有できる時間を大切にしていきたいと考えています。
甲西児童館	コロナ禍で本を借りる機会が減っていると来館した親子さんから話を聞きます。こんな時だからこそ、いつも読むものとは違うジャンルの本を知る機会が増えればいいと思いました。お話し会が今までのように気軽に行っていないですが、また違った形で提供していけたらいいと思います。

施設を対象としたアンケート調査を、学校関係のほかに保育所・各園と児童館も対象に実施した。前回の調査から、大きな変化はなく、市内全ての保育所・各園と児童館で、おはなしの時間を設けており、継続した取り組みが行われている。また、図書コーナーに関してもほとんどの保育所・各園、児童館で設けられており、子どもたちがたくさんの絵本と出会う環境がある。、児童への本の貸出に関して、今回の調査では新型コロナウイルス感染症の影響があり、貸出を中止しているという保育所・各園が見られた。図書館よりも身近で毎日通う場所で本の貸出があると、家庭での読み聞かせを促進できると思うので、新型コロナウイルス感染症の状況が改善したら、また貸出が再開することを期待したい。また、市立図書館からの団体貸出が多くの保育所・各園と児童館で行われている。児童の身近な場所に本がたくさんあるという環境が整っているといえる。

ブックスタートアンケート集計結果 4か月

Q1. 説明を受ける以前にブックスタート事業を知っていましたか

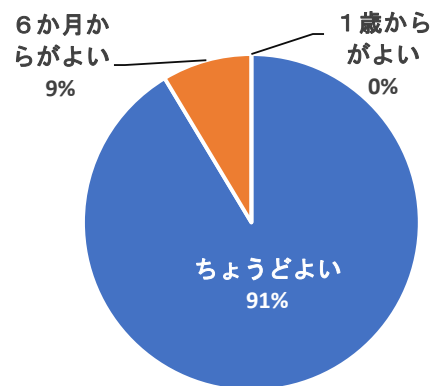
1.	はい	46人
2.	いいえ	17人
合計		63人



この事業を知っている保護者が前回と比べ33%増え、半数を超えた。令和元年度から母子手帳配布時に、この事業のお知らせと一緒に渡してもらっているため、認知度が上がったと考えられる。しかしまだ知らない保護者もいるので、今後も引き続きこの事業について情報発信をしていく必要があると考える。

Q2. ブックスタートセットを受け取る時期はいかがですか

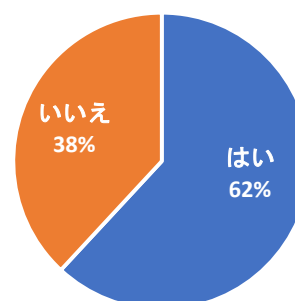
1.	ちょうどよい	53人
2.	6か月からがよい	5人
3.	1歳からがよい	0人
合計		58人



「ちょうどよい」と答えた保護者が91%で、前回と同じ割合である。Q3ではこの事業を知っていた保護者から、4か月児健診で絵本をもらったら読み聞かせを始めようと思っていたという回答があった。いつから読み聞かせをしたらよいのか、どんな絵本がよいのか迷っている保護者にとって、この事業きっかけになっていることがうかがえる。「6か月からがよい」と回答した方が9%いるが、子どもの読書活動推進計画では乳幼児期から本と出会い、読書を楽しむきっかけとしての効果を目指しているため、ぜひ早いうちから読み聞かせをしてあげてほしい。

Q3. ご家庭では、お子さんに本を読んであげていますか

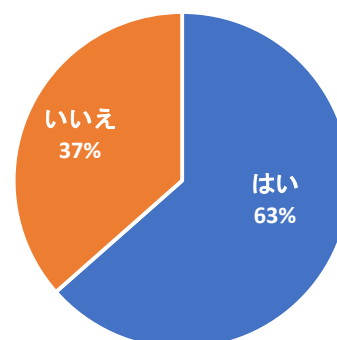
1.	はい	39 人
2.	いいえ	24 人
合計		63 人



「はい」と回答した人が62%いる。いつから読み聞かせをするか迷う保護者もいると思うが、小さいころから読み聞かせをしている人が多いことがわかる。保護者の読み聞かせに対する意識の高さがかがえる。「いいえ」と回答した人は38%いるが、4か月児健診でもらう絵本から始めようと思っていると回答した人もいた。事業の認知度が上がり、読み聞かせのきっかけとしている保護者がいることは喜ばしいことである。まだ本を読んでいないという家庭も、この事業をきっかけに子どもとのコミュニケーションの一つとして、家庭で本を読んであげてほしい。

Q4. 図書館を利用したいと思いましたが

1.	はい	40 人
2.	いいえ	23 人
合計		63 人



63%の保護者が図書館を利用したいと回答した。今回の調査時期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常4か月児健診で行っているミニおはなし会ができず絵本のプレゼントのみとなっている。そのため図書館の魅力を伝えきれていないと思われるので、他の方法で図書館を利用したくなるような情報を発信していく必要がある。

Q 5. その他感想等ありましたらご記入ください

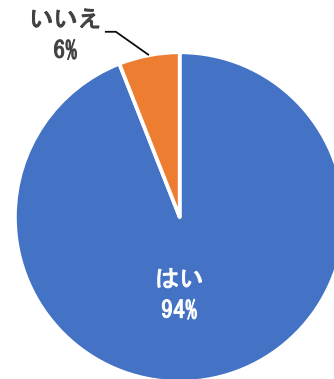
- ・絵本を読むと楽しそうな顔をしてくれるので新しい絵本を読んであげられることは嬉しいです。
- ・どのような絵本を読んであげればいいのか、悩むのももらえると嬉しいです。
- ・図書館が近くにあれば利用してみたいと思いました。
- ・3か月頃から絵に興味が出てきたようなので、受け取る時期はもう少し早くてもいいかもしれないと思います。

5年前の調査と比較して、ブックスタート事業の認知度が上がっていることがわかる。令和元年度から母子手帳配布時に、この事業のお知らせと一緒に渡してもらっている成果が表れていると思われるので、継続していきたい。その中でもまだこの事業を知らなかったという保護者もいるので、より多くの人に知ってもらえるように、広報活動などを工夫する必要があると考える。絵本を受け取る時期については多くの保護者が「ちょうどよい」と感じている。どんな絵本を選んだらよいか、いつから読み聞かせを始めたらよいか迷っている保護者の手助けにもなり、ちょうどよい時期であると思われる。Q4の「図書館を利用したいと思いましたか」という問いに「いいえ」と回答した保護者にも小さいころからの読み聞かせの大切さや、図書館の利便性、定期的に行われるおはなし会の情報などを発信していくことで、より多くの子どもたちに本にふれる機会を提供できるのではないか。

ブックスタートアンケート集計結果 1歳6か月

Q1. プレゼントの本2冊は読みましたか

1.	はい	63人
2.	いいえ	4人
合計		67人

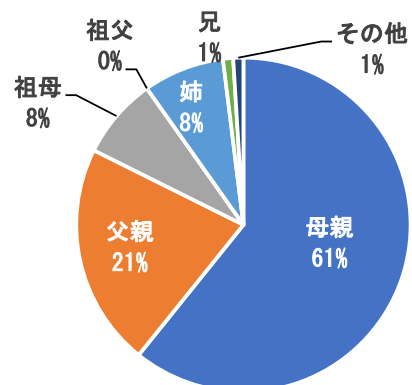


多くの保護者が、プレゼントされた本2冊とも読んでくれたことがわかる。わずかではあるが絵本を読んでいたけなかった家庭があることは残念である。今回調査対象となった方の多くが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、絵本を郵送で送付しており直接お渡しすることができなかったことも影響していると思われる。保護者に絵本を手渡す際にこの事業の趣旨を伝えることが大切だと考える。

Q2. はいと答えた方におたずねします、主に誰が読んであげていましたか

(複数回答可)

1.	母親	62人
2.	父親	22人
3.	祖母	8人
4.	祖父	0人
5.	姉	8人
6.	兄	1人
7.	その他	1人
合計		102人



本を読んであげるのは、61%が母親で最も多く、次いで父親が21%であった。前回と比べると4%、前々回と比べると7%と年々父親の割合が多くなっている。これはとても喜ばしい結果であり、父親の子育てにおける役割が変化しているのかもしれない。両親以外の家族に読んでもらったことは、とても喜ばしいことである。普段赤ちゃんと接する時間が短い人でも、絵本を用いることでコミュニケーションを取りやすくなると考えられるので、ぜひ読み聞かせをしてあげてほしいと思う。

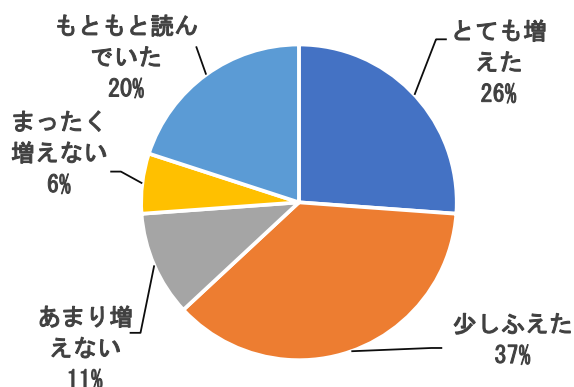
Q2. また、その時のお子さんの様子はいかがでしたか

- ・小さいときは泣いて怖がっていたが、今は嬉しそうに見ている。
- ・ニコニコして見ている。(2人)
- ・嬉しそうにしていた。(4人)
- ・興味深く絵本を見ている。笑顔が見られたり声を出していた。
- ・絵本の真似をしていた。(4人)
- ・楽しそうに聞いていた。(2人)
- ・1歳半頃から急に興味を持って、読んでほしいと言ってくるようになった。
- ・指さしをしていた。(2人)
- ・お気に入りの本になった。
- ・チラっと見ている。
- ・じっと見ている。
- ・興味を示していた。
- ・「いないいないばあ」が大好きで読むと笑ってくれた。
- ・4か月の時は反応がなかった。途中できょろきょろして他のものに興味を示す。
- ・嬉しそうに何度も読んでほしいと絵本を持ってきた。
- ・絵本で「いないいないばあ」を覚えてするようになった。(2人)
- ・膝の上でいいこに聞いていた。
- ・集中して聞いてはくれないが、ページをめくったりして遊んでいる。
- ・笑ったり、体を動かしたりと楽しそうにしていた。
- ・絵をじーっと見つめたり、にこにこしていた。
- ・「いないいないばあ」は特に好きで今でも読んでいる。
- ・好きなページだけ何度も開いている。

「喜んで聞いてくれた」「嬉しそうにしてくれた」という回答が多い一方で、「4か月のころは興味を示さなかった」「あまり聞いていなかった」という回答もあった。同じ年齢でも子どもによって反応には差がある。最初は興味を示さなかったりおはなしに集中できなくても、成長していくにつれて興味が出てくることがある。保護者には繰り返し読み聞かせをすることや、おはなしを楽しむことを伝えて、読み聞かせを継続してもらえよう、今後も働きかけていきたい。

Q3. ブックスタートをきっかけに、お子さんに本を読んであげる機会が増えましたか

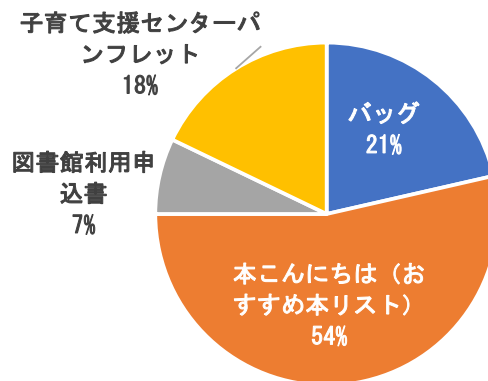
1.	とても増えた	17人
2.	少しふえた	24人
3.	あまり増えない	7人
4.	まったく増えない	4人
5.	もともと読んでいた	13人
合計		65人



「とても増えた」「少し増えた」をあわせると63%の家庭で本にふれる機会が増えている。ブックスタートをきっかけに、家庭で読み聞かせをする機会が増えたということは喜ばしい結果である。前回の調査から10%減少しているが「もともと読んでいた」と回答した人が7%増加していることから、読み聞かせを行っている家庭の割合としてはあまり大きく変化していないようである。「あまり増えない」「まったく増えない」という家庭が17%ある。保護者が忙しい環境にあることも関係していると思われるが、乳幼児期から本にふれて育つことでその後の読書活動にプラスの影響を与えることを伝えていきたい。

Q4. ブックスタート配布物のうち、活用できたものはありますか（複数回答可）

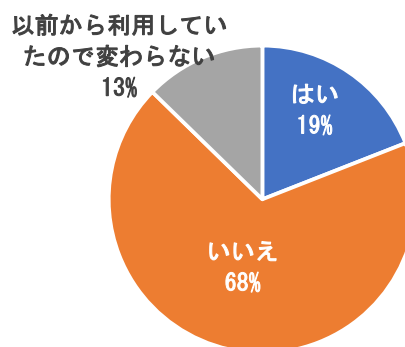
1.	バッグ	12人
2.	本こんにちは（おすすめ本リスト）	30人
3.	図書館利用申込書	4人
4.	子育て支援センターパンフレット	10人
合計		56人



最も活用されたのは「本こんにちは」で、図書館や書店で本を選ぶ際に参考にしているのではないかとと思われる。友人へのプレゼントを選ぶ際に参考にした、という具体的な回答もあった。次に活用されているのが、「バッグ」と「子育て支援センターパンフレット」である。実際にバッグを持って図書館に本を借りにくる方も多くいる。リストについては、絶版になったり新しい本が出版されたりするので、定期的な検討が必要である。また、長く読み継がれている名作も紹介し、さらに活用してもらえるようにしていきたい。

Q5. ブックスタート後、図書館を利用する機会が増えましたか

1.	はい	12 人
2.	いいえ	43 人
3.	以前から利用していたので変わらない	8 人
合計		63 人



「はい」と「以前から利用していたので変わらない」をあわせた32%に対して、「いいえ」が68%という状況だった。前回よりも「いいえ」と答えた割合が5%増加している。新型コロナウイルス感染症の影響も考えられるが、ブックスタート事業が図書館の利用にあまりつながっていない現状である。ブックスタート事業をとおして利用促進の広報活動を行い、図書館を利用してもらえるように魅力を伝えていきたい。

Q6. その他感想等がありましたらご記入ください

- ・ 1歳前から読み聞かせをした本は1歳半の今では自分でめくって読む真似をしています。
「いないいないばあ」という言葉も絵本で覚えたようです。友人の出産祝いの際にも「本こんにちは」を活用しました。
- ・ 絵本を買わないので、もらえるのがありがたい。
- ・ 本を読んであげることで子どもとのコミュニケーションもとれるのでとても嬉しいプレゼントでした。
- ・ 本を選べたら嬉しかった。2冊とも持っている本だったので、残念でした。
- ・ 絵本に向かって「いないいないばあ」をしたときは感動しました。持っている本と被ってしまったという話を聞いたので、何冊からか選べるとよいと思います。
- ・ 毎日同じ本を何回も読むくらい本が好きみたいです。通帳も無料で作ってもらえるので、どれくらい読んだかわかっていいです。
- ・ 本を選択できたら嬉しい。
- ・ 2人目で違う本だったので、よかったです。

ブックスタートの本を気に入って読んでいるという感想が寄せられた。この事業を通して絵本と親しむ子どもがいることはとても喜ばしい。この事業により、市内すべての4か月児に絵本を2冊届けられたことは、小さいころから身近に本のある環境を作るといってとても意義があると思う。絵本を受け取った内94%の家庭で読んでくれているということは、絵本が身近にあることが読み聞かせを行うきっかけになっていることであろう。配布絵本については、平成26年度より第1子、第2子以降と毎年絵本の変更を行っている。「すでに持っている本と同じ本だったので、自分で選択できるとよい」という声もあった。母子手帳配布時に一緒に渡しているお知らせで、配布している絵本をもっとPRする必要があると思われる。

Q5の結果にあるように、実際にはブックスタートがあまり図書館利用につながっていないことが見受けられる。事業の継続と推進をとおして読み聞かせのよさを保護者に伝えていき、図書館の利用向上につながるよう努めていきたい。